

Prius

取扱説明書

-パソコン使用編-

HITACHI
Inspire the Next

パソコンを始めよう

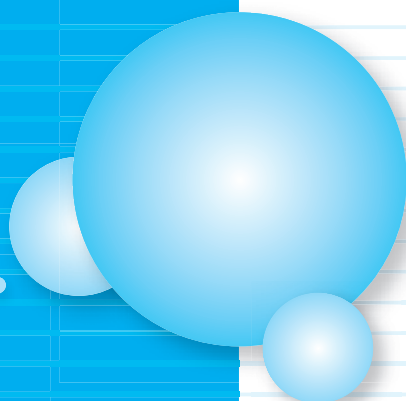
1

アプリケーションを使おう

2

再セットアップ

3



Prius

マニュアルをよく読み、保管してください。

- 製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
- このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

2

このマニュアルの使い方

このマニュアルは、あなたがパソコンの使いかたを体験するための案内書です。
ここでは、このマニュアルの使い方や読み進め方を説明します。

「1章 パソコンを始めよう」

パソコンを使うにあたって、必要最小限の操作について紹介します。




「2章 アプリケーションを使おう」

パソコンの利用方法とアプリケーションの操作方法などを紹介します。アプリケーションの概要なども、章の最後で紹介しています。




「3章 再セットアップ」

パソコンをご購入時の状態に戻すまでの操作について紹介します。

★マニュアルの表記について

 重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
 ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
 参照 →	参照先を示します。
HDD	ハードディスクドライブを表記します。
FDD	フロッピーディスクドライブを表記します。
FD	フロッピーディスクを表記します。
CD/DVD ドライブ	DVD スーパーマルチドライブなどの光学式ディスクドライブを表記します。
Windows、Windows Vista	Microsoft® Windows® Vista™ Home Premium または、 Microsoft® Windows® Vista™ Home Basic をまとめて表記します。
Office Personal 2007	Microsoft® Office Personal 2007 を表記します。
Word 2007	Microsoft® Office Word 2007 を表記します。
Excel 2007	Microsoft® Office Excel 2007 を表記します。
Outlook 2007	Microsoft® Office Outlook® 2007 を表記します。

本書では、いろいろなタイプのパソコンについて説明しています。そのため、パソコンのタイプに応じて、次のように表記しています。

パソコンのタイプ	表 記
●パソコンとディスプレイのセパレート型 	Air または Prius Air
●一体型 	One または Prius One
●ノート型 	Note または Prius Note

- ・ マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。
- ・ 説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、省略している場合があります。
- ・ 特に記述のない限り、画面はすべて Microsoft[®] Windows[®] Vista[™] Home Premium のものです。
- ・ このマニュアルはいろいろなタイプのパソコンに共通する内容を説明しています。各パソコン固有の使い方については、『設置と配線編』と『パソコン応用編』、『Prius 製品仕様』をご参照ください。
- ・ URL、お問い合わせ先、画面などはマニュアル制作時点のものです。

使用許諾について

このたびは、日立パーソナルコンピューター Prius シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。システム装置をご使用になる前に下記使用許諾契約書を必ずお読みいただきご了承くださいませようお願いいたします。

本契約は、システム装置の使用をもってご承諾いただいたものとさせていただきます。本契約をご承諾いただけない場合は、ただちに全てのシステム装置のパッケージと同封物（マニュアル及びその他の印刷物、バインダー、外装パッケージ、その他一切のもの）をお買い求めの販売店にご返却ください。この使用許諾契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明となります。

本契約は、システム装置とともに取得したソフトウェアに適用されます。ただし、個々のソフトウェアについて「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等がある場合は、本契約に優先して適用されます。

使用許諾契約書

第1条 許諾

日立製作所は、お客様に対し、本契約書とともに取得したソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）に関し、以下の権利を許諾します。

- (a) お客様は、本ソフトウェアを本ソフトウェアとあわせて取得したコンピューターに限り使用することができます。
- (b) 本ソフトウェアには、独立した機能をコンピューター上で実行する複数のコンポーネントが含まれていますが、全てのコンポーネントをもって1つの製品として扱わなければなりません。

第2条 著作権

- (a) 本ソフトウェア及び添付マニュアル等の著作権は、日立製作所またはそれぞれの開発元が有するものであり、日本国著作権法、アメリカ合衆国著作権法及び国際条約等により保護されています。

第3条 その他の条件

- (a) お客様は、本ソフトウェア及び本ソフトウェアに付属する全ての印刷物を複製できません。
- (b) お客様は、本ソフトウェアを本ソフトウェアとあわせて取得したコンピュータと分離して、譲渡、貸出、移転、その他の方法で第三者に使用させることはできません。
- (c) お客様は、本ソフトウェアについて逆コンパイル、逆アセンブルをすることはできません。

第4条 品質保証

- (a) 日立製作所は、本ソフトウェアに付属する全ての印刷物に乱丁・落丁がある場合、お買い上げ後90日間に限り補修又は交換、もしくは修正に必要な情報を提供するものとします。
- (b) いかなる場合においても、日立製作所ならびに本ソフトウェア著作権保有者は本ソフトウェアの使用又は使用不能から生ずるいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他金銭的損害を含むがこれらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。

第5条 契約の解除

お客様が本契約に違反した場合、日立製作所は、本契約を解除することができます。その場合、お客様は、本ソフトウェアを一切使用しないものとします。

株式会社日立製作所

お読みください

情報セキュリティ対策のお願い

インターネットは多くのコンピューターが接続されたネットワークとして世界中で広く活用される利便性の反面、コンピューターがウイルスに感染したり、不正侵入を受けたりなどの危険性もあります。各種情報の流出が社会的に問題となっている現状、ご自身で情報セキュリティ対策の必要性をご認識いただき、継続的な対策をお願いします。

(1) ソフトウェアの更新（最新のセキュリティパッチの適用）

Windows や各種アプリケーションソフトについて、修正版や更新版が公開されることがあります。常にソフトウェアを最新の状態に保つようお心がけください。

[Windows Update]

ご購入直後や再セットアップ後、普段ご使用になるときに「Windows Update」を行うようにしてください。「Windows Update」の手順については、2章の「Windows をアップデートする」(P.41) をご参照ください。

(2) ウイルス対策ソフトの導入

パソコンは外部からの電子メールやホームページの閲覧などでウイルスに感染することがあります。ウイルス対策ソフトを導入していただき、常に最新のバージョンや機能を保ち、パソコンをウイルスの感染から防御してください。ウイルス対策ソフトがあっても、ウイルスが突発的に拡大したときなどは完全な防御とならないことがあります。怪しいと思われるメールやインターネットサイトにはアクセスしない姿勢をお心がけください。

(3) パーソナルファイアウォールの利用

ネットワークに接続したパソコンはハッカーやウイルスの不正侵入の危機にさらされています。これを防止する効果的な手段がパーソナルファイアウォールソフトです。ウイルス対策ソフトと一緒に導入し、パソコンへの不正侵入の防止をお心がけください。

青少年がおられる家庭の皆様へ（フィルタリングソフトのご案内）

インターネットは多くの情報がかんたんに入手できる便利なものですが、その反面、違法な情報や、有害情報などの青少年の健全な育成上好ましくない情報も多く存在しています。インターネット上の有害な情報へのアクセスを制限する技術に「フィルタリング」があります。「フィルタリング」は、情報へのアクセス制御を自動的に行う技術により、万全ではありませんが有害情報へのアクセスを未然にブロックする有効な手段です。青少年がインターネットを利用されるご家庭では「フィルタリング」を活用されることをお勧めします。

本パソコンには、フィルタリングソフト「i-フィルター」をバンドルしています。インストールに関しては、『パソコン使用編』3章の「アプリケーションの個別インストールについて」をご参照ください。

もくじ

このマニュアルの使い方

使用許諾について.....	2
お読みください.....	3
情報セキュリティ対策のお願い.....	3
青少年がおられる家庭の皆様へ（フィルタリングソフトのご案内）..	3
もくじ.....	4

1 章 パソコンを始めよう

使用許諾契約に同意しよう	8
電源を切ろう.....	12
もう一度、電源を入れよう	13
マウスを使う.....	14
マウスの持ち方.....	14
マウスポインターの移動	14
ポインティングパッドを使う（ノートパソコンの場合）.....	15
指の置き方.....	15
マウスポインターの移動	15
キーボードを使う.....	16
Windows Vista の基本的な使い方.....	17
デスクトップとは.....	21
ボタンの表記について.....	21
ウィンドウを開く / 閉じる.....	22
ウィンドウの大きさを変える	23
スクロールして隠れている部分を見る.....	24
ウィンドウの表示を変える	25
複数のウィンドウを切り替える	26
コントロールパネルを開く	27
日本語を入力する.....	28
日本語入力の流れ.....	28

入力中や漢字変換後の間違いを修正する.....	28
日常のお手入れ.....	29

2章 アプリケーションを使おう

アプリケーションを起動する.....	32
[スタート]ボタンから起動する.....	32
デスクトップから起動する.....	33
アプリケーションを終了する.....	34
ホームページを見る.....	35
インターネットに接続する.....	35
ホームページを表示する.....	35
インターネットエクスプローラの使いかた.....	36
メールを使う.....	37
メールを送る.....	37
メールを受け取って読む.....	37
返信する.....	37
ウイルスチェックをする.....	38
コンピュータをスキャンする.....	38
ウイルスチェックをこまめにする.....	38
音楽 CD を作る.....	39
好きな音楽を集めて CD を作る流れ.....	39
Roxio Easy Media Creator を使って音楽 CD を作成する.....	40
音楽 CD のバックアップ音楽 CD を作成する場合.....	40
音楽 CD から直接オリジナル音楽 CD を作成する場合.....	40
パソコンに保存してある音楽ファイルからオリジナル音楽 CD を作成する場合.....	40
Windows をアップデートする.....	41
Windows を最新の状態にアップデートするには.....	41
Windows の自動更新機能について.....	43
自動更新が設定されていることを確認するには.....	43
自動更新が設定されていると.....	44
アプリケーション利用ガイド.....	45
思い出の映像を編集して DVD ビデオにする.....	45
年賀状や暑中見舞いなどのはがきを作る.....	46
わからなくなったら.....	47
アプリケーション一覧.....	49

CD 再生・音楽再生.....	49
テレビ視聴・録画.....	49
DVD 再生.....	49
映像編集／CD・DVD 作成.....	50
画像編集.....	50
インターネット／メール.....	50
生活／学習.....	51
Prius 簡単ツール.....	53

3 章 再セットアップ

再セットアップについて.....	56
------------------	----

作業の流れ.....	56
1 準備する.....	57
必要なファイルをバックアップする.....	57
インターネットの設定を控える.....	57
USB などの周辺機器を取り外す.....	57
メモリーカードを取り外す.....	57
BIOS の設定をご購入時の状態に戻す.....	57
必要なディスクを用意する.....	59
2 一括インストールを行う.....	59
一括インストールのイメージ.....	60
一括インストール手順.....	60
3 アプリケーションをインストールする.....	65
4 電子マニュアルをインストールする.....	65

個別セットアップについて.....	67
-------------------	----

アプリケーションの個別インストールについて.....	67
アプリケーションをインストールの前に.....	67
アプリケーションを削除する.....	67
アプリケーションをインストールする.....	68
ドライバーの個別セットアップについて.....	70
Setup.exe からのインストール.....	70
デバイスマネージャからのインストール.....	71
各アプリケーションやドライバーの制限や設定.....	72
Microsoft Office Personal 2007.....	72
ATLAS 翻訳パーソナル 2007 LE.....	72
Norton Internet Security.....	72
i-フィルター.....	72

パーティションの設定.....	73
-----------------	----

さくいん.....	81
-----------	----

1

1 章 パソコンを始めよう

パソコンの基本操作について紹介しています。

- >> ・ 使用許諾契約に同意しよう (P.8)
- >> ・ マウスを使う (P.14)
- >> ・ ポインティングパッドを使う
(ノートパソコンの場合) (P.15)
- >> ・ キーボードを使う (P.16)
- >> ・ Windows Vista の基本的な使い方 (P.17)
- >> ・ デスクトップとは (P.21)
- >> ・ ウィンドウを開く / 閉じる (P.22)
- >> ・ ウィンドウの大きさを変える (P.23)
- >> ・ スクロールして隠れている部分を見る (P.24)
- >> ・ ウィンドウの表示を変える (P.25)
- >> ・ 複数のウィンドウを切り替える (P.26)
- >> ・ コントロールパネルを開く (P.27)
- >> ・ 日本語を入力する (P.28)
- >> ・ 日常のお手入れ (P.29)

使用許諾契約に同意しよう

はじめてパソコンの電源を入れたときは、Windows の使用許諾契約（ライセンス条項）に同意して、Windows を使えるようにする必要があります。この操作は、はじめて電源を入れるときだけに必要です。次に電源を入れるときは必要ありません。

重要 ● すべてのモデルで使用許諾契約（ライセンス条項）に同意する手順が必要です。次の操作を行ってください。

1 パソコンの電源を入れる。

しばらくすると、[ライセンス条項をお読みになってください]が表示されます。

参照 → 電源の入れ方 → 『設置と配線編』1章の「電源を入れよう」

※ ヒント ● Windows を使えるようにするまでの操作を Windows のセットアップといいます。
● 使用許諾契約に同意する操作は、Air/One の場合はマウス、Note の場合はポインティングパッドで行います。

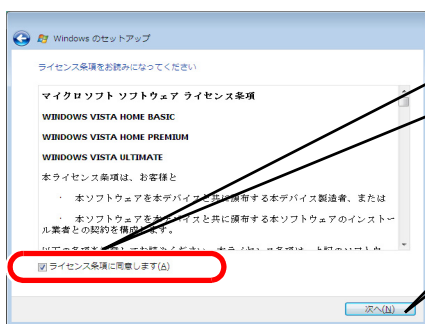
参照 → ・マウスを使うには → 「マウスを使う」(P.14)
・ポインティングパッドを使うには → 「ポインティングパッドを使う（ノートパソコンの場合）」(P.15)

2 [ライセンス条項をお読みになってください]でマウスを移動させて

☐ ライセンス条項に同意します(A) に重ね、クリック

☐ ライセンス条項に同意します(A) にチェックが付きます。

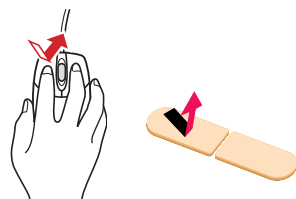
3 マウスまたはポインティングパッドを動かし、画面上の次へ(N)を移動させて[次へ]に重ね、クリック



☐ ライセンス条項に同意します(A)

2

3



マウスの左ボタン、またはポインティングパッドの左のクリックボタンを1回押すことを、「クリック」といいます。

※ ヒント ● 使用許諾契約（ライセンス条項）
ここでは、あらかじめパソコンに入っている Windows を使うための契約のことをいいます。
● 画面に表示されているマウスを、「マウスポインター」と呼びます。

● ワイヤレスマウスの場合

- ・ワイヤレスマウスが動作しない場合は、マウスの無線信号をパソコンで正しく認識できるように登録してください。
- ・ワイヤレスマウスの場合、10分間操作しないと節電モードに入りマウスポインターが動かなくなります。マウスのボタンをクリックし、節電モードを解除してください。

参照 → ワイヤレスマウスの登録について → 『設置と配線編』1章の「キーボードとマウスを登録しよう」

重要 ● 使用許諾契約（ライセンス条項）は必ずお読みください。

4 [ユーザー名と画像の選択]で[ユーザー名]を入力し、必要に応じて[パスワード] (省略可能)を入力し、このユーザーアカウントで使用する画像を選択する

これらの入力内容はあとで変更できます。

日本語を入力するには	日本語を入力する方法は2つあります。使いやすい方法を選んで入力してください。
ローマ字入力	キーの左上のアルファベットを使って、ローマ字読みでひらがなを入力します。 H I T A C H I と入力すると自動的に「ひたち」となります。
かな入力	かな入力したい場合は、キーボードの[Alt]キーを押しながら[カタカナ ひらがな]キーを押すと、かな入力ができます。 キー右下、または右上のひらがなを使って入力します。 ひたち と入力すると「ひたち」となります。
漢字変換	入力したひらがなを漢字に変換するには、キーボードの[スペース]キーを押します。違う漢字が表示されたときは、もう一度[スペース]キーを押して、漢字の候補一覧の中から該当する漢字を選びます。 「ひたち」- [スペース]キー → 常陸 - [スペース]キー → 日立 選んだ漢字を確定するには、[Enter]キーを押します。 ひらがなのままでよいときは、[スペース]キーを押さずに、そのまま[Enter]キーを押して確定します。

※ヒント ● ワイヤレスキーボードの場合
ワイヤレスキーボードが動作しない場合は、キーボードの無線信号をパソコンで正しく認識できるように登録してください。

参照 → ワイヤレスキーボードの登録について → 『設置と配線編』1章の「キーボードとマウスを登録しよう」

5 マウスを移動させて[次へ]に重ね、クリック



※ヒント ● [ユーザー名]に入力した名前は、あとで変更できます。変更の方法については、『入門編』4章の「ユーザー名などを変えよう」をご参照ください。
● キーボードの入力操作に慣れていない方は、『入門編』の「5章 日本語を入力しよう」をご参照ください。

6 [コンピューター名を選択して、デスクトップの背景を選択してください]で[コンピュータ名]を入力し、デスクトップの背景を選択する

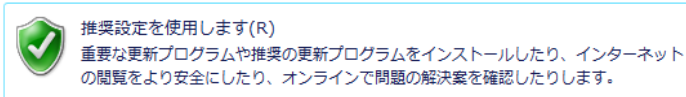
入力内容はあとで変更できるので、[コンピュータの名前]はペットに名前を付けるようなつもりで入力します。

7 マウスを移動させて[次へ]に重ね、クリック

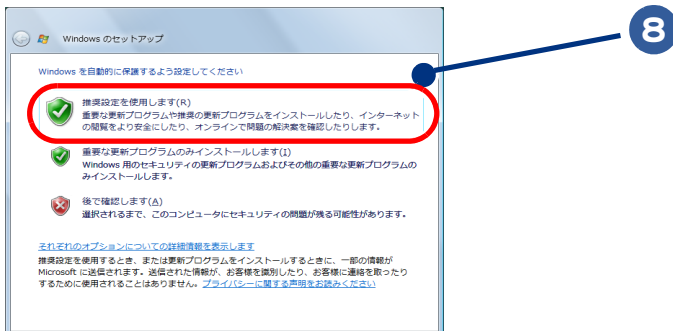


- 入力できる文字には制限があります。画面の指示に従ってください。
- [コンピュータの名] はあとで変更できます。変更の方法については、『入門編』の「4章 コントロール パネル を使おう」をご参照ください。

8 [Windows を自動的に保護するよう設定してください]で、マウスを移動させて

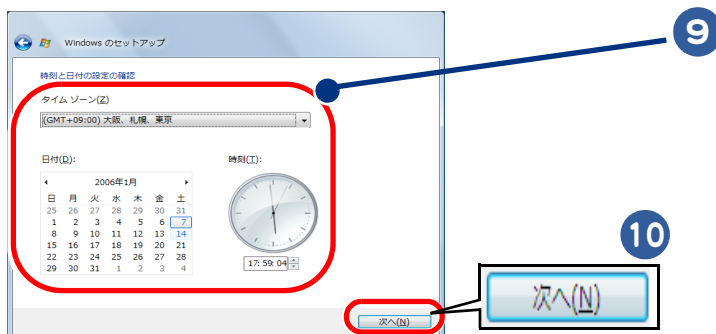


に重ね、クリック



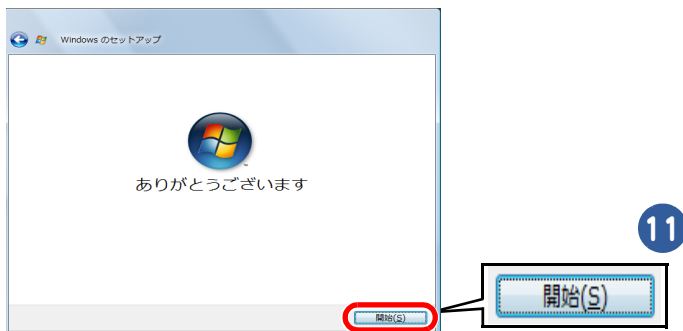
9 [時刻と日付の設定の確認]で正しい時刻や日付を設定する

10 マウスを移動させて[次へ]に重ね、クリック





11 [ありがとうございます]でマウスを移動させて[開始]に重ね、クリック



Windows のデスクトップが表示されます。

2 回目以降は、電源を入れると Windows のデスクトップが表示されます。[ライセンス条項をお読みになってください]や[ユーザー名と画像の選択]などは表示されません。

1

パソコンを始めよう

電源を切ろう

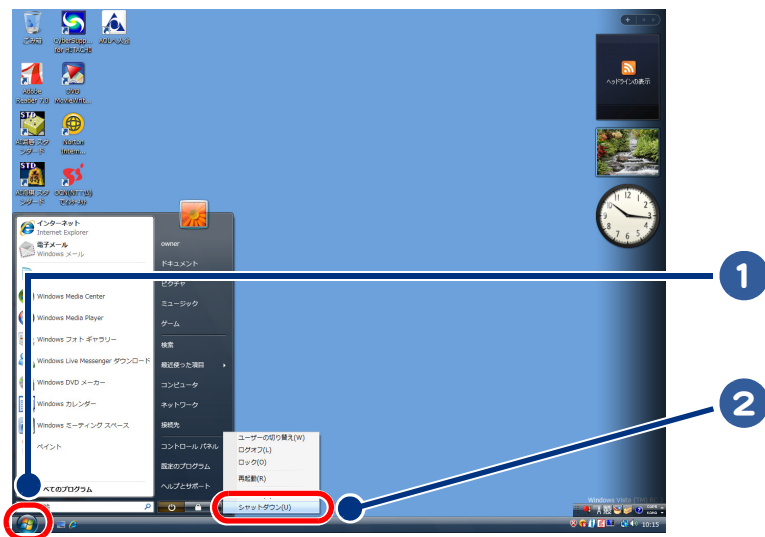
Windows の使用許諾契約などが終わったら、いったん電源を切ります。電源を切る操作はとても大切です。次に説明する方法で、電源を切ってください。

1 ([スタート] ボタン) に を重ね、クリック

スタートメニューが表示されます。

2 に を重ねてクリックし、シャットダウン(U) をクリック

画面が暗くなり、しばらくすると電源が切れます。



3 Air では、ディスプレイの電源スイッチを押す


ディスプレイの電源が切れます。



● パソコンの電源スイッチを 4 秒未満押ししても、手順 1 ～ 2 の操作と同じように電源が正しく切れます。

● AirOne の場合、リモコンの電源ボタンやキーボードの [POWER] キーを押すと、手順 1 ～ 2 の操作と同じように、電源を切ることができます。

● 節電機能を使うには

パソコンの使用を一時的に中止するには、[スリープ] または [休止状態] で終了すると便利です。ウィンドウやアプリケーションが記憶されているため、最後に使用した状態から始めることができます。スタートメニューの  ([電源] ボタン) をクリックすると、[スリープ] を選択したときと同様にウィンドウやアプリケーションを記憶して終了します。



参照 → パソコンの終了についての詳細 → 『パソコン応用編』の「2 章 消費電力を節約する」



重要

● パソコンの電源スイッチは、4 秒以上押し続けしないでください。Windows が強制終了されます。この場合、異常終了とみなされ、次回起動時にチェックプログラムが働くことがあります。異常がない場合は、そのあと正常に Windows が起動します。

● 一度電源を切り、再度電源を入れるときは、20 秒以上の間隔をあけてください。

もう一度、電源を入れよう

もう一度電源を入れて、デスクトップ画面が表示されることを確認します。

※ ヒント

- Windows の起動時は、ひんばんに画面の切り替えが行われるため、画面が乱れることがあります。
- One の場合、電源コードを接続した直後は、キーボードの [POWER] キーまたはリモコンの [電源] ボタンから起動しません。一度 Windows を起動し、Windows を終了して電源を切ったあと、キーボードの [POWER] キーまたはリモコンの [電源] ボタンから起動することができます。

▲ 重要

- パソコンの起動時にキーボードを連打したり、押し続けしないでください。エラーメッセージが表示される場合があります。

1 Air では、ディスプレイの電源スイッチを押す

ディスプレイの電源が入ります。

2 パソコンの電源スイッチを押す

しばらくして、デスクトップが表示されます。

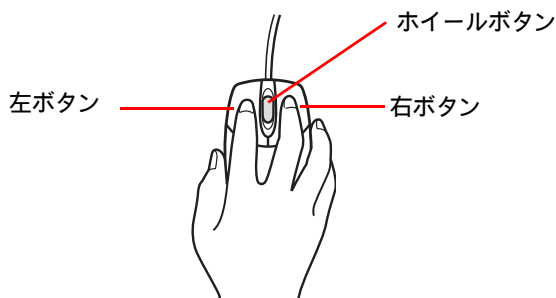
マウスを使う

Windows では、主にマウスを使って操作します。はじめにマウスの使い方を覚えましょう。

参照 → マウスの使い方についての詳細 → 『入門編』1章の「マウスを使う」

マウスの持ち方

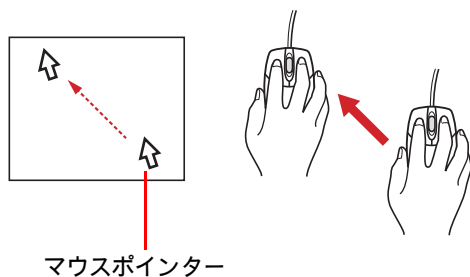
- 1 マウスを右手のひらで包み込むように持ち、人差し指を左ボタンに、中指は右ボタンにかかるようにする



マウスポインターの移動

- 1 マウスを動かす

マウスの動きに合わせてマウスポインターが画面上を動きます。



ポインティングパッドを使う（ノートパソコンの場合）

ノート型のパソコンでは、ポインティングパッドを使って操作できます。はじめにポインティングパッドの使い方を覚えましょう。

参照 → ポインティングパッドの使い方についての詳細 → 『入門編』1章の「ポインティングパッドを使おう」

重要 ● ポインティングパッドを使う場合は、USB マウスを取り外してください。

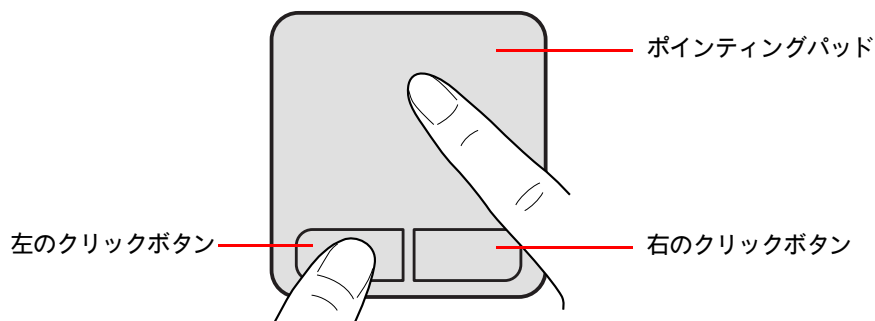
ヒント ● ポインティングパッドは機種により異なります。ポインティングパッドのイラストは一般的なものを記載しています。

1

パソコンを始めよう

指の置き方

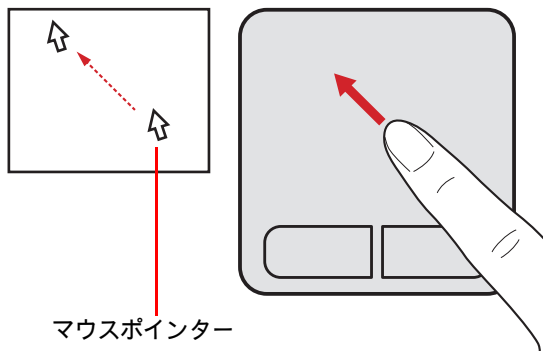
- 1 ポインティングパッドの上に軽く人さし指を置いたり、左のクリックボタンの上に軽く親指を置く



マウスポインターの移動

- 1 ポインティングパッドの上で指を動かす

指の動きに合わせてマウスポインターが画面上を動きます。



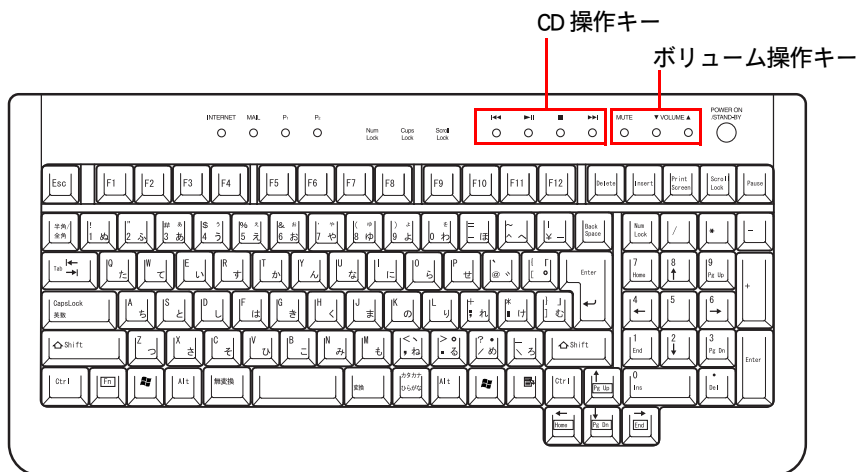
キーボードを使う

キーボードを使うと、文字を入力できます。お使いのキーボードによっては、ワンタッチでプログラムを起動できます。

参照 → キーボードの使い方 → 『入門編』 1章の「キーボードを使う」

※ ヒント ● キーボードは、お使いのパソコンによって異なります。ここでは、代表的なキーボードにしています。

デスクトップパソコンの場合



ノートパソコンの場合



Windows Vista の基本的な使い方

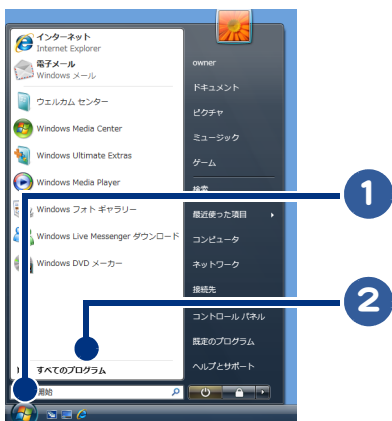
「e解説 はじめてでもわかる Microsoft Windows Vista 教室」を使うと、Windows Vista や Internet Explorer、Windows メールなどの基本的な使い方を、音声ガイダンスと動画で学習することができます。

1

パソコンを始めよう

1 [スタート] ボタンをクリック

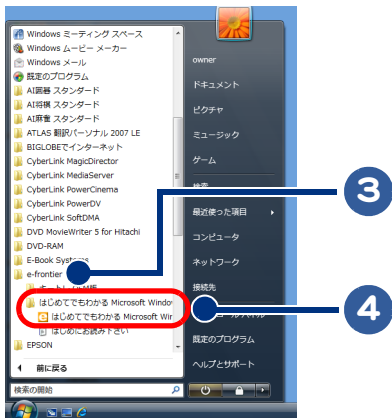
2 [すべてのプログラム] をクリック



3 [e-frontier] をクリック

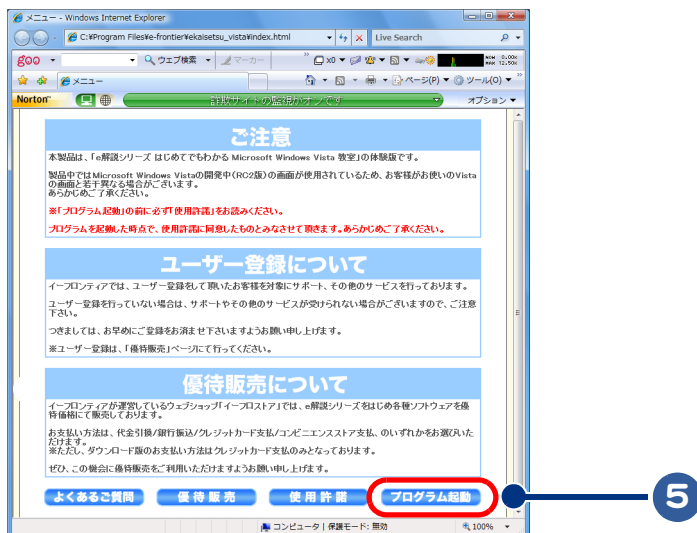
4 [e解説 はじめてでもわかる Microsoft Windows Vista 教室 体験版] をクリックし、 [はじめてでもわかる Microsoft Windows Vista 教室 体験版] をクリック

ご注意とユーザー登録の画面が表示されます。



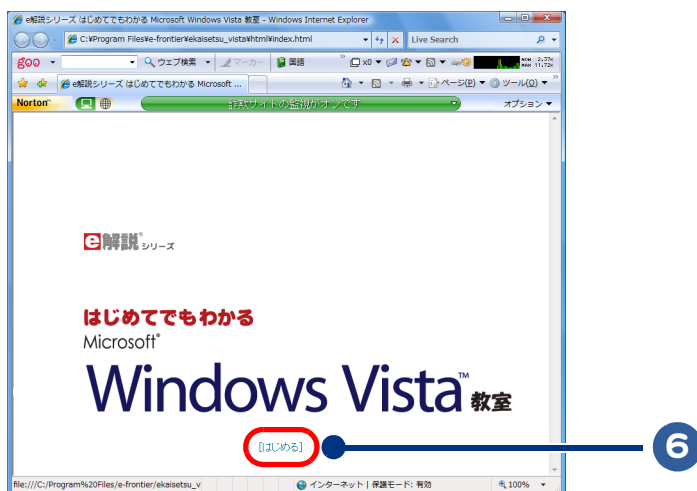
5 [プログラム起動] ボタンをクリック

[はじめてでもわかる Microsoft Windows Vista 教室]が表示されます。



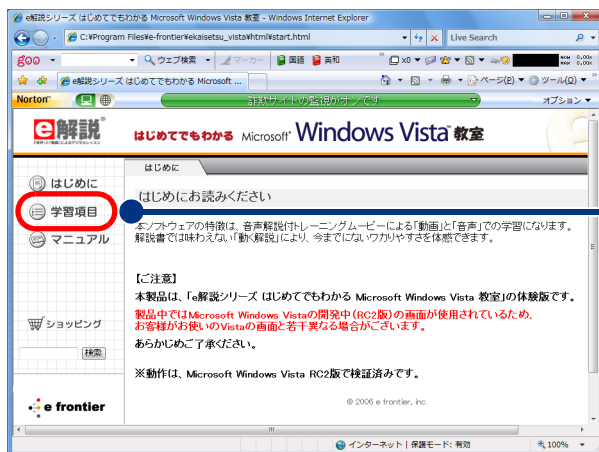
6 [はじめる]をクリック

[はじめにお読みください]が表示されます。



7 [学習項目]をクリック

[学習項目]が表示されます。



8 学習したい項目をクリック

選択した項目の動画が始まります。

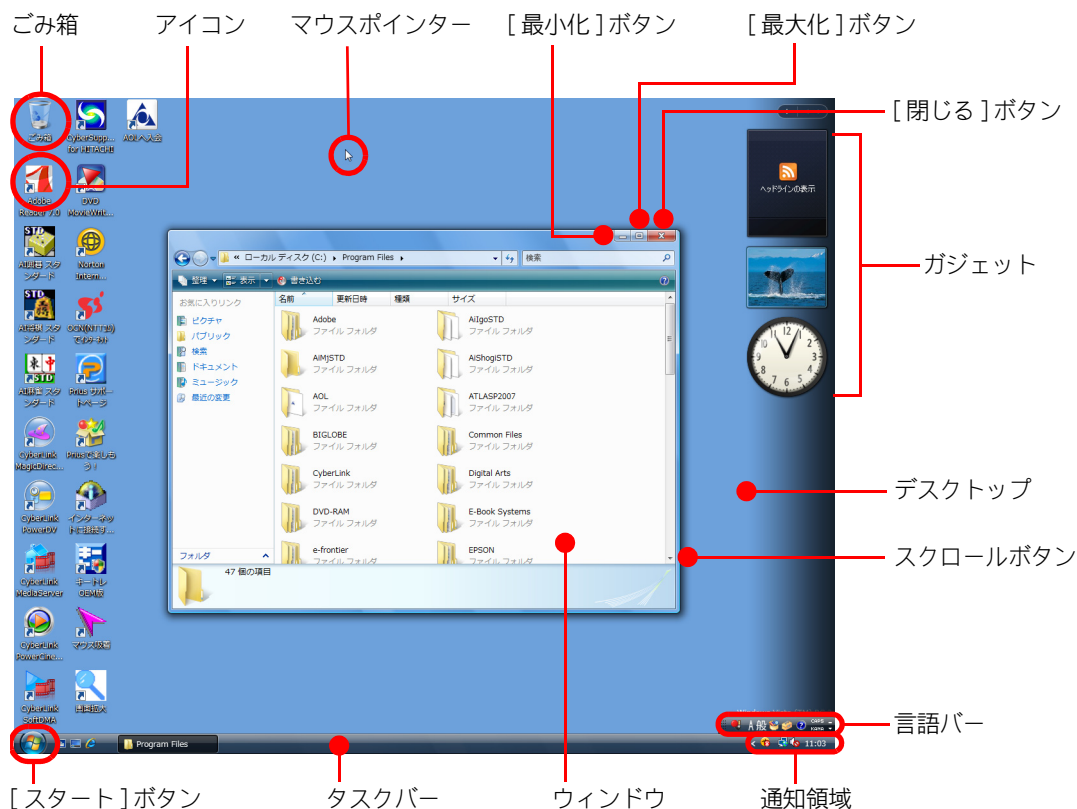


9 アイコンなどをクリックして、動画を操作する



デスクトップとは






デスクトップ、それは作業するものを開く机のようなものです。パソコンのデスクトップには、作業をすばやく行えるいろいろなものがあります。



※ヒント ● デスクトップは、機種により異なります。

ボタンの表記について

デスクトップやウィンドウでよく使われるボタンを、取扱説明書では以下のように表記します。

ボタン	名 称	機 能
	[スタート]ボタン	スタートメニューを表示します。
	[閉じる]ボタン	ウィンドウを閉じます。
	[最大化]ボタン	ウィンドウを最大の大きさにします。
	[最小化]ボタン	ウィンドウをタスクバーに隠します。
	スクロールボタン	ウィンドウ内の見えない領域を表示します。

ウィンドウを開く / 閉じる

Windows では、ファイルを見たり、アプリケーションを起動すると、ウィンドウと呼ばれる画面が開きます。ウィンドウを開いて、中を見てみましょう。

参照 → 詳細について → 『入門編』 2 章の「ウィンドウを開こう / 閉じよう」

※ ヒント ● ここでは、スタートメニューから [コンピュータ] ウィンドウを開きます。

1 [スタート] ボタンをクリック

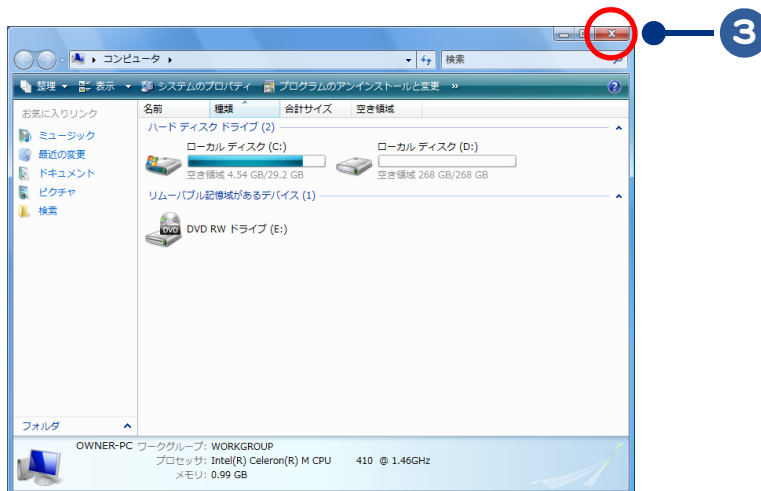
2 [コンピュータ] をクリック

[コンピュータ] ウィンドウが開きます。



3 [閉じる] ボタンをクリック

[コンピュータ] ウィンドウが閉じます。



ウィンドウの大きさを変える

ウィンドウの大きさを変えてみましょう。ウィンドウは、四隅や境界線をドラッグして自由に大きさを変えることができます。

参照 → 詳細について → 『入門編』 2 章の「ウィンドウの大きさを変えよう」

1

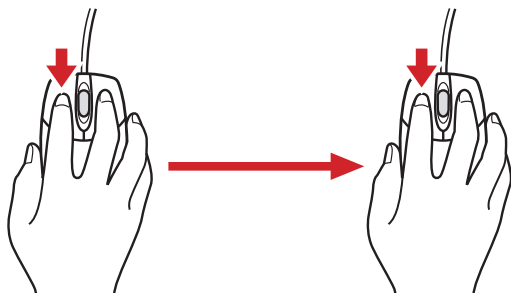
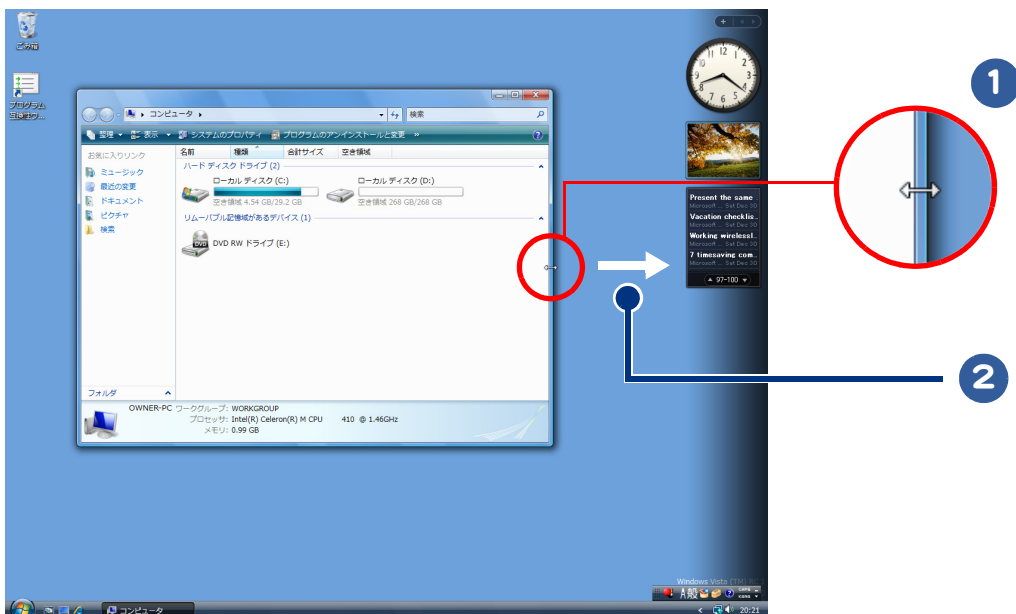
パソコンを始めよう

1 ウィンドウの境界線にマウスポインターを合わせる

マウスポインターの形がに変わります。

2 そのまま右にドラッグして、左ボタンをはなす

ウィンドウの大きさが変わります。



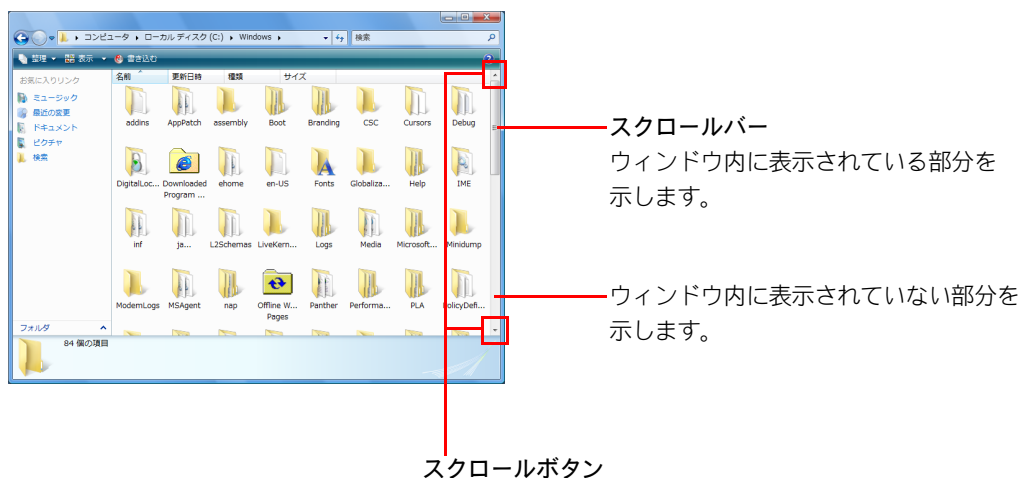
ドラッグとは、マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かすこと

スクロールして隠れている部分を見る

アイコンや文字などが多すぎてウィンドウにすべてが表示されていないときは、スクロールして隠れている部分を見ましょう。

参照 → スクロール→『入門編』1章の「スクロールしよう」

ウィンドウ内に収まらないデータがあるときは、スクロールバーが表示されます。



スクロールするには、次の方法があります。

- ・ スクロールボタンでスクロールする。
- ・ スクロールバーでスクロールする。
- ・ マウスのホイールボタンでスクロールする。

参照 → スクロールのしかた→『入門編』2章の「スクロールして隠れている部分を見よう」

ホイールボタン

マウスのホイールボタンを使うと、簡単にスクロールできます。

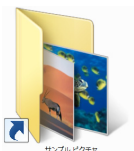


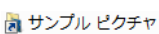
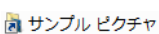
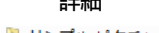

参照 → マウスのホイールボタンについて→『入門編』1章の「スクロールしよう」

ウィンドウの表示を変える

ウィンドウ内の情報を、見やすいように変えましょう。

参照 → 表示の換え方 → 『入門編』 2章の「ウィンドウの表示を変えよう」

ウィンドウの表示は、次のような表示に変えることができます。

特大アイコン 	最も大きなアイコンです。フォルダーやファイルの内容をイメージしたアイコンで表示します。画像などのファイルを格納したフォルダーを特大アイコンで表示すると、ファイルの内容をイメージ表示するので、フォルダーの内容がひと目で分かります。フォルダー名やファイル名の下に、「並べ替え」で指定した並べ替え情報は表示されません。
大アイコン 	二番目に大きなアイコンです。フォルダーやファイルの表示内容は、特大アイコンと同じです。
中アイコン 	三番目に大きなアイコンです。フォルダーやファイルの表示内容は、特大アイコンと同じです。
小アイコン 	最も小さなアイコンです。フォルダーやファイルの内容はイメージ表示されません。
一覧 	フォルダーやファイルを「小アイコン」と同じ大きさのアイコンで一覧表示します。たくさんのフォルダーやファイルがあるフォルダーの内容を一覧するとき便利です。
詳細 	開いているフォルダーの内容が一覧表示され、名前、取得日、フォルダの情報、タグ、サイズなどの詳細な情報が表示されます。
並べて表示 	フォルダーやファイルを「中アイコン」と同じ大きさのアイコンで表示します。

複数のウィンドウを切り替える

ウィンドウが複数開いているとき、見たいウィンドウに切り替えましょう。

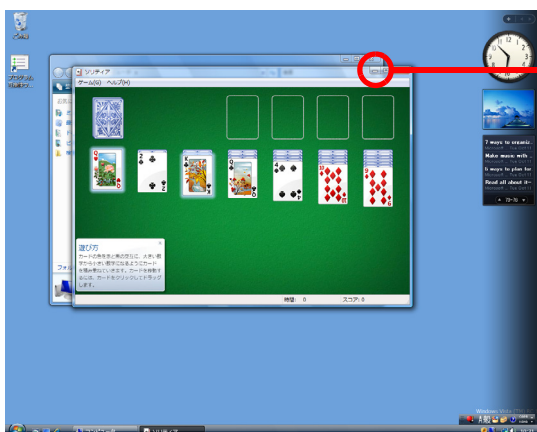
ウィンドウを隠す / 表示する

現在一番前面に表示されているウィンドウを、デスクトップから隠しましょう。さらに、隠れているウィンドウを表示しましょう。

参照 → 詳細について → 『入門編』 2 章の「複数のウィンドウを切り替えよう」

1 ([最小化]ボタン)をクリック

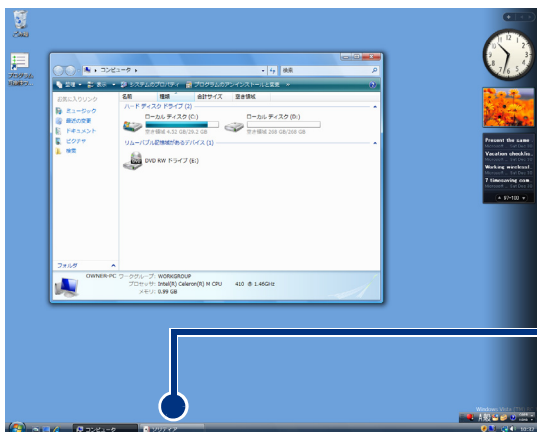
デスクトップからウィンドウが隠れます。



ウィンドウ内をクリックしても、ウィンドウを切り替えられます。

2 タスクバーで切り替えたいウィンドウをクリック

ウィンドウが切り替わります。



コントロールパネルを開く

ここでは、コントロールパネルの開き方を説明します。
コントロールパネルでは、Windows のセキュリティーやインターネットなどの各種設定を行います。

1

パソコンを始めよう

1 [スタート] ボタンをクリック

2 [コントロールパネル] をクリック

[コントロールパネル] が表示されます。



3 設定を変更したい項目をクリック

4 終了するときは、[X] ([閉じる] ボタン) をクリック



日本語を入力する

キーボードから日本語を入力しましょう。はじめはキーの位置を確かめながら、あわてずゆっくりと入力していきましょう。

日本語入力の流れ

①日本語入力システムを使えるようにする

日本語を入力するには、日本語入力システムを使えるようにします。

参照 → 『入門編』 5 章の「日本語を入力できるようにしよう」

②ローマ字入力とかな入力を切り替える

日本語の入力方法には、「ローマ字入力」と「かな入力」があります。入力しやすい方法を選びましょう。

参照 → 『入門編』 5 章の「ローマ字入力とかな入力、どちらで入力？」

③読みを入力し、変換・確定する

キーボードから読みを入力し、変換します。目的の日本語に変換できたら、確定します。

参照 → 『入門編』 5 章の「日本語を入力しよう」

入力中や漢字変換後の間違いを修正する

入力中の間違いを修正する

読みを入力中に間違いに気づいたときは、次のように間違えた文字を削除して修正します。

- ・ [←] キーを押して間違えた文字の後 (右) までカーソルを移動し、[BackSpace] キーを押します。
- ・ [←] キーを押して間違えた文字の前 (左) までカーソルを移動し、[Delete] キーを押します。

参照 → 詳細について → 『入門編』 5 章の「入力中の間違いを修正する」

漢字変換後の間違いを修正する

正しい漢字に変換されなくても、確定する前なら、間違いを修正することができます。

参照 → 『入門編』 5 章の「漢字変換後の間違いを修正する」

日常のお手入れ

ここではパソコンのお手入れについて説明します。
お手入れをするときは、電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて行ってください。

重要 ● シンナーやベンジン、化学雑巾は使わないでください。パソコンの表面が変質するおそれがあります。

パソコン

- ・パソコンが汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水か中性洗剤で湿らせた布を固く絞って拭くか、オフィスクリーナーなど、市販の専用クリーナーをお使いください。
- ・ご使用になる環境によっては、本体の通気孔にほこりがたまり、故障などの原因になることがあります。定期的に清掃してください。ほこりは、綿棒などで取り除いてください。
- ・Note をお使いの場合、CPU 冷却用のファンおよびヒートシンクは、定期的に歯ブラシやピンセットなどを使用して、ほこりなどを取り除いてください。ほこりなどがたまった場合、CPU の放熱効果が低下します。また、清掃の際はパソコンの電源を切って約 30 分、時間をおいてから行ってください。やけどの原因になります。カバーの取り外し方については、『パソコン応用編』3 章の「パソコンを拡張する」の「取り付け手順」をご参考ください。

液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイが汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

重要 ● 液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
ティッシュペーパーを使った場合でも強くこするとキズがつく場合があります。

CD/DVD ドライブ

CD/DVD ドライブのお手入れのしかたは、機種によって異なります。ご注意ください。

★ Air の場合

メディア読み書き時にエラーがたびたび発生する場合は、市販のクリーナーを使ってクリーニングを実施すると、エラーが解消される場合があります。
クリーナーの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

重要 ● 次の推奨クリーナーにはクリーニング液が添付されていますが、クリーニング液は付けずに使用してください。読み取りレンズにクリーニング液が付着し、逆にエラーが発生する場合があります。

推奨クリーナー：Panasonic 製 LF-K123LCJ1

★ One の場合

One の CD/DVD ドライブはスロットインのため、クリーニングは不要です。

★ Note の場合

ほこりなどでデータ読み込み時にエラーが頻繁に発生する場合は、カメラ用のブロアーなどでほこりを吹き飛ばすようにして、クリーニングしてください。

重要 ● クリーニングディスクやクリーニング液を使用する湿式レンズクリーナーは、使用しないでください。ドライブ内部のレンズを傷つける原因になります。

※ ヒント ● ブロアーは、パソコンショップなどでご購入ください。



2

2 章 アプリケーションを使おう

アプリケーションの起動や終了のしかた、アプリケーションの利用方法について紹介しています。

- >> ・ アプリケーションを起動する (P.32)
- >> ・ アプリケーションを終了する (P.34)
- >> ・ ホームページを見る (P.35)
- >> ・ メールを使う (P.37)
- >> ・ ウイルスチェックをする (P.38)
- >> ・ 音楽 CD を作る (P.39)
- >> ・ Windows をアップデートする (P.41)
- >> ・ アプリケーション利用ガイド (P.45)
- >> ・ わからなくなったら (P.47)
- >> ・ アプリケーション一覧 (P.49)

アプリケーションを起動する

メールを送ったり、年賀はがきなどを作るときは、アプリケーションを起動します。



重要 ● 機種により、インストールおよび添付されているアプリケーションは異なります。詳細は『Prius 製品仕様』の「アプリケーション一覧」をご参照ください。

[スタート]ボタンから起動する

アプリケーションは、[スタート]ボタンの[すべてのプログラム]メニューに登録されています。
[スタート]ボタンからメニューを選んでアプリケーションを起動しましょう。

1 [スタート]ボタンをクリック

2 [すべてのプログラム]をポイント



ヒント ● ポイントとは、アクセスする位置にマウスポインターを移動して選択することです。

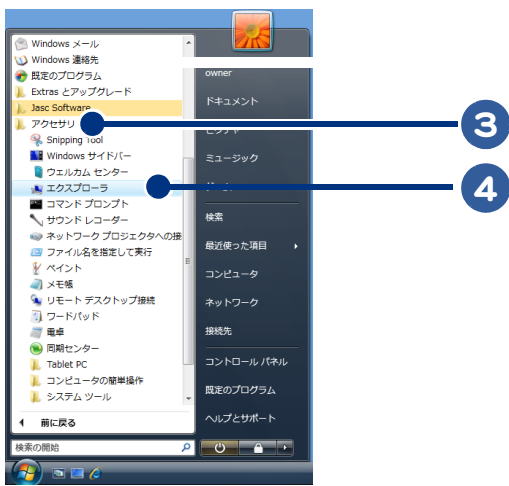


3 起動したいアプリケーションのフォルダーをクリック



4 アプリケーション名をクリック

アプリケーションが起動します。



※ヒント


- 以降、このアプリケーションの起動のしかたを、次のように表記します。
(例) エクスプローラを起動する場合
[スタート] ボタン→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]をクリック

デスクトップから起動する

ショートカットは、アプリケーションのリンクアイコンのことです。
ダブルクリックするだけで、アプリケーションを起動することができます。

1 デスクトップにあるアプリケーションのショートカットをダブルクリック

アプリケーションが起動します。

ショートカットにはが付いています。



ダブルクリックとは、マウスの左ボタン、またはポインティングパッドの左クリックボタンを、2回続けて押すこと

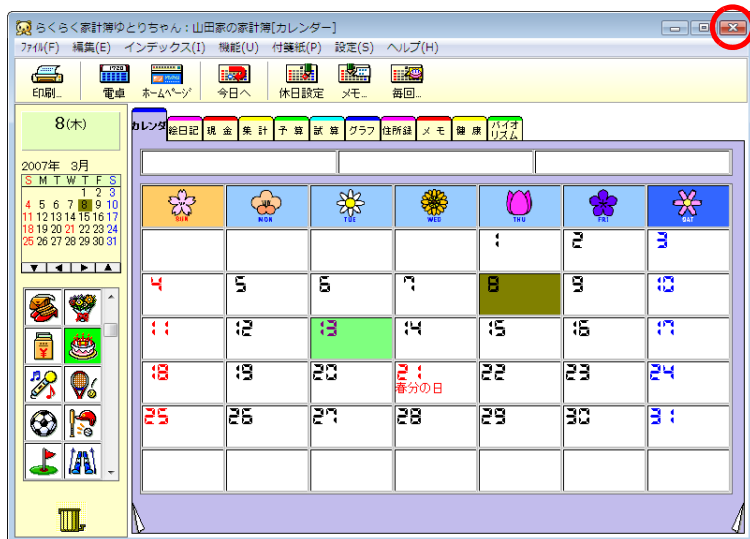
アプリケーションを終了する

アプリケーションでの作業が終わったら、アプリケーションを終了しましょう。

1

 をクリック

アプリケーションの画面が閉じます。



- データを保存していないときは、保存を確認する画面が表示されることがあります。指示に従って操作を行ってください。
- メニューバーのある画面では、[ファイル]メニューー「x x x の終了」をクリックしても終了できます。

ホームページを見る

インターネットに接続すると、ホームページを見ることができます。

インターネットに接続する

ホームページを見るためには、次のような準備が必要です。

①接続する

モジュラーコンセント、電話、パソコンなどを、ケーブルで接続します。

参照 → 接続のしかた → 『設置と配線編』 2 章の「インターネットを始めたい方は」

②プロバイダーに加入する

オンラインサインアップソフトを利用すると、画面の指示に従って加入手続きができます。

参照 → オンラインサインアップソフトの使いかた → 『インターネット編』 の「1 章 インターネットに接続する」、アプリケーションのヘルプ

※ ヒント ● プロバイダーによって、接続料金やサービスが異なります。加入する前に複数のプロバイダーを比較して、自分にあったプロバイダーに加入しましょう。

ホームページを表示する

ホームページの表示には、ホームページ用ソフト「Internet Explorer」(以下、インターネットエクスプローラ)を使います。

インターネットエクスプローラを起動する

参照 → 起動のしかた → 『インターネット編』 2 章の「インターネットの起動のしかたと終わり方」

見たいホームページに移動する

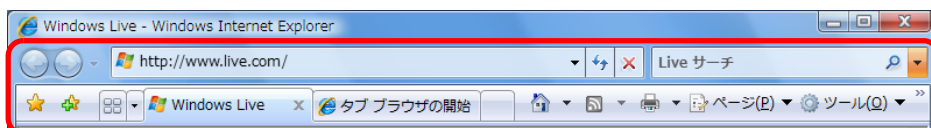
見たいホームページに移動するには、次の方法があります。

- ・ [お気に入り] を使って移動する
- ・ リンクをたどって移動する
- ・ アドレスを直接入力して移動する

参照 → 操作のしかた → 『インターネット編』 2 章の「見たいホームページに移動しよう」

インターネットエクスプローラの使いかた

各ボタンと動作について



	ひとつ前の画面に戻るときにクリックします。
	[戻る] ボタンをクリックしたあと、元の画面を表示させたいときにクリックします。
<input type="text" value="Live サーチ"/>	検索したいキーワードを入力し [Enter] キーを押すと、直接インターネット検索ができます。検索に使う検索サイトは自由に追加できます。
	クリックすると、[お気に入り] に登録されているホームページ名が表示されます。 [フィード] をクリックすると、RSS フィードに登録されているお気に入りのホームページの最新情報を手に入れることができます。 [履歴] をクリックすると、標準で 20 日前までに訪れたホームページ名とアドレスが表示されます。
	クリックすると、表示しているページを [お気に入り] に登録したり、すでに登録したページを整理することができます。
	タブに開いているすべてのホームページを、1 つのタブで縮小表示して内容を確認できます。
	クリックすると、開いているすべてのホームページ名を表示できます。
	タブです。複数のホームページを表示したときに、クリックして切り替えることができます。[×] ボタンをクリックすると、タブが閉じます。
	最初に表示されるホームページに戻ります。[▼] をクリックすると、最初に表示されるホームページを変更したり、削除したり、複数のホームページを設定したりすることができます。
	表示されているホームページで登録されている RSS フィードを更新、最新の情報を手に入れることができます。複数の RSS フィードを登録している場合は、[▼] をクリックして一覧から更新したいフィード名を選択します。
	表示されているホームページを印刷します。フレームで分割されている場合は、クリックして選択されている部分が印刷されます。印刷する内容を確認したいときは、[▼] をクリックして [印刷プレビュー] を選択します。
	クリックすると、ホームページを操作するメニューが表示されます。ホームページを保存したり、表示や文字サイズを拡大・縮小したりすることができます。
	クリックすると、インターネットエクスプローラの設定を変更するメニューが表示されます。セキュリティの設定やメニューバーやツールバーの表示 / 非表示、インターネットオプションの設定などを変更することができます。
100% (画面の右下)	クリックすると、ホームページの表示が大きくなります。[▼] をクリックすると表示倍率の一覧が表示され、ホームページの表示を拡大・縮小できます。

メールを使う

メールを使えば、電話代を気にしないで遠くにいる人と連絡がとれます。旅行で撮ったデジカメ写真の画像などをメールで送ることもできます。

メールを送る

メールを送るには、メール用ソフト「Windows メール」を使います。

①メール用ソフトを起動する

参照 → 起動のしかた → 『インターネット編』 3章の「メール用ソフトの起動のしかたと終わり方」

②メールを作成して送る

メール用ソフトを操作して、宛先や件名を指定した後、メールの本文を書きます。メールの本文を書き終えたら、メールを送る操作をします。

参照 → 操作のしかた → 『インターネット編』 3章の「メールを送ろう」

※ヒント

- メールの内容がひと目でわかる件名にすると、あとから探すなどに便利です。
- メールに添付するファイルサイズの上限は、500KBを目安にしましょう。
- はじめに自分自身にメールを送って、送受信できるかチェックしてみましょう。
- 宛先に複数のメールアドレスを入力すると、同じメールを複数の人へ同時に送ることができます。

メールを受け取って読む

メールを受け取って読むには、メールを送るときと同様、メール用ソフトを使います。

参照 → 操作のしかた → 『インターネット編』 3章の「メールを受け取る」

返信する

送られてきたメールに返事を送ることを「返信する」といいます。お友達からメールが届いたら、返信してみましょう。

参照 → 操作のしかた → 『インターネット編』 3章の「受け取ったメールに返事を出そう」

ウイルスチェックをする

コンピュータウイルスなどの被害からパソコンを守るために、ウイルス駆除ソフトをインストールして定期的にウイルスチェックを行いましょう。

コンピュータをスキャンする

ウイルス駆除ソフト「Norton Internet Security」を操作して、コンピュータをスキャンします。

参照 → 操作のしかた→アプリケーションのヘルプ、『アプリケーション編』1章の「ウイルスチェックを行う」

ウイルスチェックをこまめにする

一定間隔でウイルスチェックを自動的に行うように、ウイルスチェックのスケジュールを決めて設定します。

参照 → 操作のしかた→アプリケーションのヘルプ、『アプリケーション編』1章の「ウイルスチェックをこまめにする」

音楽 CD を作る

自分の好きな音楽を CD-R/RW に書き込み、音楽 CD を作ることができます。

好きな音楽を集めて CD を作る流れ

①音楽データを取り込む

CD-R/RW に書き込みたい音楽データを取り込みます。

★使用するアプリケーション

- ・ Roxio Easy Media Creator
- ・ Windows Media Player

②編集して CD を作る

アルバム名やアーティスト名を変えたり、再生リストの作成や編集を行います。

★使用するアプリケーション

- ・ Roxio Easy Media Creator

③ CD-R/RW に書き込む

CD-R/RW を CD/DVD ドライブに入れて、編集した音楽データを書き込みます。

★使用するアプリケーション

- ・ Roxio Easy Media Creator

※ヒント ● CD-RW に音楽データを書き込むこともできます。ただし、市販の CD プレイヤーでは再生できません。CD-R に書き込んだ場合でも、市販のプレイヤーやほかのパソコンで再生できないことがあります。

④ラベルを作る

ラベルをデザインし、印刷してはり付けます。


★使用するアプリケーション

- ・ 筆ぐるめ

※ヒント ● CD/DVD へのダイレクト印刷に対応したプリンターが必要になります。

Roxio Easy Media Creator を使って音楽 CD を作成する

ここでは、Roxio Easy Media Creator を使って音楽 CD のバックアップ用 CD の作成、音楽 CD からオリジナル音楽 CD を作成する方法、パソコンに保存している音楽ファイルからオリジナル音楽 CD を作成する方法を紹介します。

 **重要** ● 音楽などの著作物は、個人で利用すること以外利用は著作権法上禁止されています。市販の DVD や CD などのバックアップを取るときは注意してください。

■ 音楽 CD のバックアップ音楽 CD を作成する場合

『アプリケーション編』 5 章の「DVD や CD をバックアップする」を参照して、バックアップ音楽 CD を作成してください。

 **重要** ● コピープロテクト付き CD はバックアップを取るできません。

■ 音楽 CD から直接オリジナル音楽 CD を作成する場合

『アプリケーション編』 2 章の「音楽 CD から直接オリジナル音楽 CD を作る」をご参照ください。

■ パソコンに保存してある音楽ファイルからオリジナル音楽 CD を作成する場合

『アプリケーション編』 2 章の「録音したデータから音楽 CD を作る」をご参照ください。

Windows をアップデートする

パソコンを悪意のあるプログラムから守るために、Windows を最新の状態にアップデートしておきましょう。

Windows を最新の状態にアップデートするには

Windows を最新の状態にアップデートするには、「Windows Update」を使います。Windows Update は、Windows の更新状態のチェックと必要な更新のリストアップ、ダウンロード、インストールを簡単に行うことができます。

重要 ● Windows Update の利用には、インターネットの接続が必要です。

参照 → インターネットの接続 → 『インターネット編』の「1 章 インターネットに接続する」

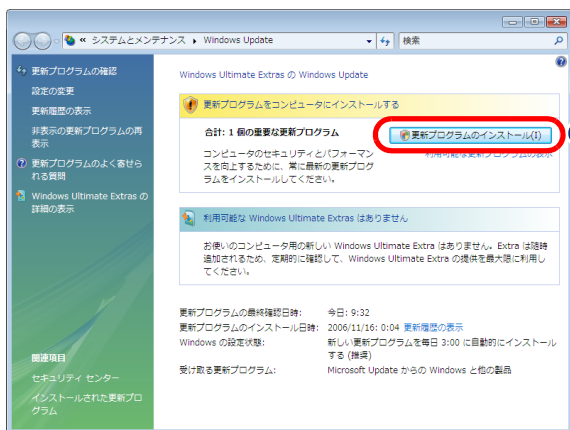
2

アプリケーションを使う

1 [スタート] ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update] をクリック

2 [更新プログラムのインストール] ボタンをクリック

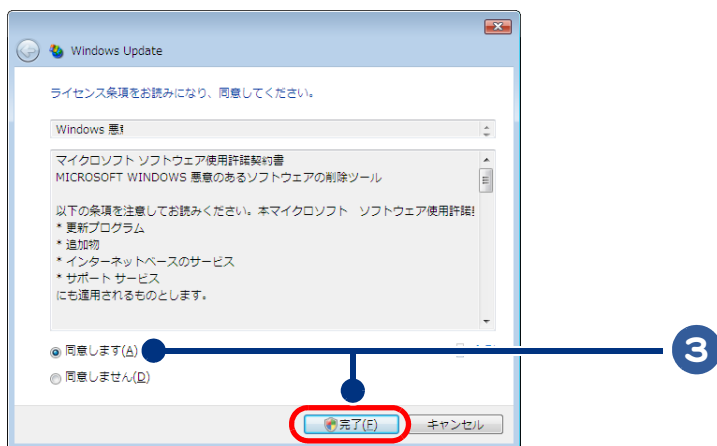
[Windows Update] が表示されます。



2

3 [同意します] を選択し、[完了] ボタンをクリック

[ユーザーアカウント制御] が表示されます。



4 [続行] ボタンをクリック

5 インストールが終わり、パソコンの再起動を要求された場合は、再起動する

※ ヒント ● パソコンを再起動した後、再度 Windows Update に戻って、ほかにダウンロードすべき更新が残っていないかを確認してください。

Windows の自動更新機能について

Windows には、インターネットに接続されているときに最新のセキュリティ更新をマイクロソフトのサイトから自動的にダウンロードする「自動更新機能」が搭載されています。

■ 自動更新が設定されていることを確認するには

1 [スタート] ボタン－[コントロール パネル] をクリック

2 [システムとメンテナンス] をクリック



3 [Windows Update] をクリック



2

アプリケーションを使う

4 [設定の変更]をクリック



5 [更新プログラムを自動的にインストールする(推奨)]が選択されていることを確認する

選択されていない場合は、クリックして選択してください。

6 [OK] ボタンをクリック

[ユーザーアカウント制御]が表示されます。



7 [続行] ボタンをクリック

■ 自動更新が設定されていると

自動更新が設定されていると、更新がインストール可能な状態になった際、Windows により、重要な更新が定期的に確認され、インストールされます。自動更新を有効にすると、他の更新の実行前に Windows Update ソフトウェアが自動的に更新されます。

重要 ● 自動更新では重要な更新のみがダウンロードされます。それ以外の更新と、自動更新が設定される前に提供された重要な更新はダウンロードされません。

アプリケーション利用ガイド

ここでは、Prius にあらかじめ用意されているアプリケーションの利用例について紹介しています。

思い出の映像を編集して DVD ビデオにする

①ビデオなどの外部機器と Prius を接続する

Prius に外部機器を接続し、映像を取り込みます。

参照 → ・外部機器との接続→『エンターテインメント編』、外部機器に添付のマニュアル

- ※ヒント**
- 外部機器と Prius を接続するには、IEEE1394 ケーブル(市販品)やオーディオケーブル(市販品)を使用します。
 - 録画したテレビ番組も、編集したり、DVD に書き込むことができます。

②映像を編集する

取り込んだ映像データを編集します。編集した映像は、MPEG2 ファイルで保存します。

★使用するアプリケーション

・ DVD MovieWriter

参照 → 『エンターテインメント編』、アプリケーションのヘルプ

- ※ヒント**
- 「編集」とは、ナレーションや音楽を入れたり、不要なシーンをカットして、映像に手を加えることです。映像を編集することで、個性あふれる作品に仕上げることができます。

③ DVD に書き込む

書き込み可能な DVD を CD/DVD ドライブに入れて、保存した映像データを書き込みます。

★使用するアプリケーション

・ DVD MovieWriter

- ※ヒント**
- 書き込み可能な DVD は、次のとおりです。
 - ・ DVD-R/RW
 - ・ DVD-RAM
 - ・ DVD+R/RWただし、市販の DVD プレイヤーで再生できない場合があります。お使いの DVD プレイヤーがどの DVD の再生に対応しているかを確認してから書き込みましょう。

参照 → 対応ディスクについて→『アプリケーション編』6章の「アプリケーションごとの使用可能なディスク一覧」

④ラベルを作る

ラベルをデザインし、印刷してはり付けます。

★使用するアプリケーション

・ 筆ぐるめ

参照 → アプリケーションのヘルプ

- ※ヒント**
- CD/DVD へのダイレクト印刷に対応したプリンターが必要になります。

年賀状や暑中見舞いなどのはがきを作る

①プリンターと Prius を接続する

Prius にプリンターを接続します。

参照 → 『パソコン応用編』の「3章 パソコンを拡張する」

②住所や宛先を入力する

文字の大きさや種類を決めて、宛名面に住所や宛先を入力します。

★使用するアプリケーション

・ 筆ぐるめ

参照 → 『アプリケーション編』1章の「年賀状・暑中見舞いを作る」、アプリケーションのヘルプ

※ ヒント ● 宛名や住所を入力すると、自動的に住所録に登録されます。次回、同じ人宛のはがきを作成したい場合は、住所録から名前を選択するだけで宛名面が作成できます。

③はがきをデザインする

画像データを使ってはがきをデザインします。あいさつの言葉などを入力します。

★使用するアプリケーション

・ 筆ぐるめ

参照 → 『アプリケーション編』1章の「年賀状・暑中見舞いを作る」、アプリケーションのヘルプ

※ ヒント ● 文字の種類を選ぶこともできます。年輩の方には毛筆タッチの文字、若い方にはペンタッチの文字といったように、はがきを送る相手に合わせて選びましょう。
● 往復はがきや封筒をデザインすることもできます。
● 「筆ぐるめ」に用意されている画像データを利用すると、便利です。

④はがきを印刷する

はがきをプリンターにセットして、印刷します。

★使用するアプリケーション

・ 筆ぐるめ

参照 → 『アプリケーション編』1章の「年賀状・暑中見舞いを作る」、アプリケーションのヘルプ

※ ヒント ● 「筆ぐるめ」に用意されている画像データを利用すると、便利です。
● 「筆ぐるめ」ではインターネットでポストカードの印刷を注文することができます。

わからなくなったら

アプリケーションの使い方などがわからなくなったときには、次に紹介する方法で解決策を探ることができます。

アプリケーションのヘルプを見る

アプリケーションのヘルプは、アプリケーションを起動し、画面でご参照ください。通常は、次の方法でヘルプを表示させることができます。

2

アプリケーションを使う

1 アプリケーションを起動する

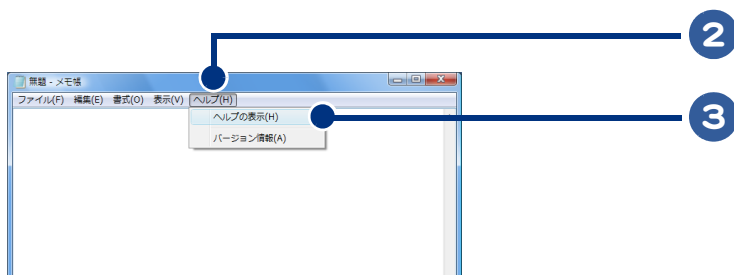
2 ヘルプを表示したいアプリケーションのメニューから[ヘルプ]をクリック

[ヘルプ]メニューが開いて、ヘルプ関係の項目が表示されます。

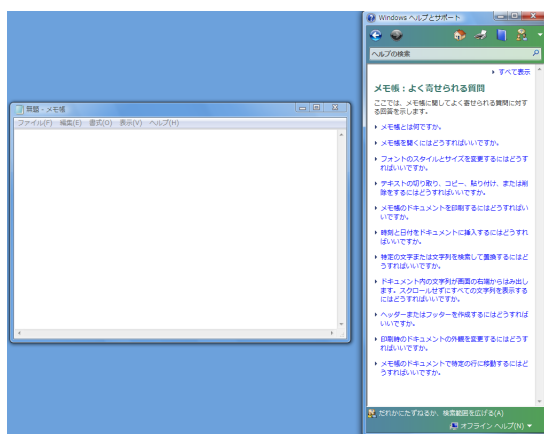
※ヒント ● アプリケーションによっては、キーボード操作でヘルプを表示できるものもあります。

3 ヘルプの項目をクリック

項目名はアプリケーションによって異なりますが、通常は「ヘルプ」「トピックの検索」などと表示されています。



ヘルプの画面が表示されます。



※ヒント ● アプリケーションによっては、インターネットエクスプローラでヘルプ内容が表示されるものもあります。

マニュアルを参照する

アプリケーションのマニュアルがある場合は、そちらもご参照ください。
アプリケーションの電子マニュアルがある場合、各アプリケーションのスタートメニューにあります。[スタート]ボタンからご参照ください。

ヘルプやマニュアルを見ても解決しない場合は

お使いのアプリケーションに応じて、別紙『サポート&サービス編』の「お問い合わせ情報」をご参照いただき、適切なお問い合わせ先にご連絡ください。

アプリケーション一覧

ここでは、アプリケーションについて簡単に紹介しています。お問い合わせ先については、別紙『サポート & サービス編』の「お問い合わせ情報」をご参照ください。項目内に記載している参照先は、使い方としての参照先を示しています。

製品によっては、搭載するアプリケーションが異なり、インストール、および、添付されていないアプリケーションがあります。

2

アプリケーションを使う

CD 再生・音楽再生

Windows® Media Player 11

パソコンやインターネット上にあるデジタルメディアファイルを再生したり、整理することができます。また、インターネット上でデジタルメディアコンテンツの購入も可能。

参照 → アプリケーションのヘルプ

テレビ視聴・録画

Prius Navistation5

テレビ視聴およびテレビ録画、予約録画 (EPG) などが可能。録画ファイルの再生も可能。

※ ヒント ● テレビ搭載モデルのみ、テレビ視聴やテレビ録画、予約録画 (EPG) などが行えます。

参照 → 『エンターテインメント編』、アプリケーションのヘルプ

SD-VideoWriter

録画した動画ファイルを、携帯電話向け (SD-Video) フォーマットに変換して書き込みを行うソフト。

参照 → 『アプリケーション編』4章の「映像を使おう」、アプリケーションの電子マニュアル

DVD 再生

Windows® Media Center

DVD、CD、音楽ファイルの再生が可能。

参照 → 『エンターテインメント編』、アプリケーションのヘルプ

Power Cinema

DVD、CD、音楽ファイルの再生が可能。

参照 → 『エンターテインメント編』、アプリケーションのヘルプ

映像編集／CD・DVD 作成

Windows DVD メーカー

映像や動画などから、オリジナル DVD を作成する。

参照 → 【エンターテインメント編】

DVD MovieWriter 5 for HITACHI

オリジナル DVD 作成を行う。キャプチャー、編集、オーサリング、DVD 作成が可能。デジタルビデオカメラの映像取り込みが行える。

参照 → 【エンターテインメント編】

Roxio Easy Media Creator 9

CD/DVD ライティングソフト。音楽 CD や、CD・DVD などのバックアップディスク作成、データ CD やデータ DVD の作成、音楽 CD の作成などが可能。

参照 → 【アプリケーション編】 2 章の「音楽 CD を作る」、5 章の「DVD または CD を作成する」、アプリケーションのヘルプ

画像編集

Windows フォトギャラリー

デジカメ写真の画像を表示、補正、管理するソフト。保存場所に関係なく、すべての写真を一括表示したり、デジカメ写真に名札を付けて、写真をテーマ別に整理することができる。

参照 → アプリケーションのヘルプ

インターネット／メール

Microsoft® Internet Explorer

インターネットを見るときに使用する。

参照 → 2 章の「ホームページを見る」(P.35)、【インターネット編】の「2 章 ホームページを見てみよう」、アプリケーションのヘルプ

Microsoft® Office Outlook® 2007

メールを送信・受信したり、スケジュールを管理するソフト。

参照 → 添付マニュアル、アプリケーションのヘルプ

Microsoft® Windows メール

メールを送信・受信するソフト。

参照 → 2 章の「メールを使う」(P.37)、【インターネット編】の「3 章 メールを使ってみよう」、アプリケーションのヘルプ

Java™ 2 Platform Standard Edition 6.0

Java 言語で開発されたソフトを Windows® 上で実行するためのランタイムセット。

goo スティック

Internet Explorer 上で動作する goo のツールバー。文字を入力して Web ページを検索したり、インターネット上で、国語事典、英和辞典、和英辞典を利用できる。

参照 → アプリケーションのヘルプ

オンラインサインアップソフト

インターネットプロバイダーへのサインアップソフト (AOL、BIGLOBE、OCN、ODN、So-net、Yahoo! BB)。

参照 → 2章の「インターネットに接続する」(P.35)、『インターネット編』の「1章 インターネットに接続する」

Nortn Internet Security 2007

ウイルス駆逐・ファイアウォールソフト。ウイルス検索・駆逐を行ったり、外部からの不正なアクセスを防止する。また、情報保護機能により、インターネットへのアクセスを制限することができる。

参照 → 2章の「ウイルスチェックをする」(P.38)、アプリケーションの電子マニュアル、アプリケーションのヘルプ

i-フィルター 4 (30 日間使用可能)

インターネット利用の管理を行うソフト。

参照 → アプリケーションのヘルプ

生活／学習

Microsoft® Office Word 2007

文章作成を行うワープロソフト。

参照 → 添付マニュアル、アプリケーションのヘルプ

Microsoft® Office Excel 2007

表作成・計算を行う表計算ソフト。

参照 → 添付マニュアル、アプリケーションのヘルプ

筆ぐるめ Ver.14 for HITACHI

年賀状や暑中見舞いなど、はがきや封筒などを作成するソフト。独自ナビ機能によりはがき作成方法が簡単に閲覧できる。デジカメ写真や素材集の画像を水彩や油彩などの手書き絵画風に変換も可能。

参照 → 2章の「年賀状や暑中見舞いなどのはがきを作る」(P.46)、『アプリケーション編』1章の「年賀状・暑中見舞いを作る」、アプリケーションの電子マニュアル、アプリケーションのヘルプ

らくらく家計簿ゆとりちゃん7

家計簿ソフト。アイコン付きのカレンダーやイラストを自由にはり付けられる絵日記機能のほか、貯蓄・ローン試算や、総務庁統計局調べの「家計調査年報」と自分の家計簿をグラフで比較することが可能。小計の試算や健康管理記録機能もある。

参照 → 添付マニュアル、『アプリケーション編』1章の「家計簿をつける」、アプリケーションのヘルプ

キートレ

タイピング練習ソフト。

参照 → アプリケーションの電子マニュアル

ATLAS 翻訳パーソナル 2007 LE

英日、日英翻訳ソフト。Web ページ翻訳、メール翻訳、テキスト翻訳、クリップボード翻訳が行える。

参照 → アプリケーションの電子マニュアル、アプリケーションのヘルプ

駅すばあと

時刻表・経路検索ソフト。目的地までのルート・運賃・所要時間を簡単操作で素早く的確に完全表示。鉄道全線時刻表対応により、JR・私鉄・地下鉄・路面電車全線の詳細情報を完全に網羅。

参照 → アプリケーションの電子マニュアル、アプリケーションのヘルプ

AI 囲碁スタンダード、AI 将棋スタンダード、AI 麻雀スタンダード

囲碁、将棋、麻雀ゲームができるソフト。

参照 → アプリケーションのヘルプ (AI 囲碁、AI 将棋のみ)、『アプリケーション編』1 章の「将棋、囲碁、麻雀」

Prius 四字熟語、Prius 一文字、Prius 筆算

四字熟語クイズ、一文字漢字クイズ、筆算クイズを行うゲーム感覚の学習ソフト。

参照 → 『アプリケーション編』1 章の「Prius ゲーム」

Adobe Reader

PDF ファイルを閲覧するソフト。

参照 → アプリケーションのヘルプ

CyberSupport for HITACHI

プレインストールされているソフトのヘルプなどを、文章入力することで検索するヘルプ検索ソフト。

参照 → 『入門編』1 章の「CyberSupport を使って探そう」、アプリケーションのヘルプ

読みワザ

Internet Explorer のテキストとクリップボードのテキストを読み上げるソフト。

参照 → アプリケーションの電子マニュアル

プリンタードライバー

プリンターを動作させるためのソフト (EPSON、Canon)。

参照 → プリンターに付属のマニュアル

Prius 簡単ツール

Prius で楽しもう！

搭載されているソフトの使い方や使用例などをまとめた、ソフトをより楽しく使うための日立オリジナル利用ガイド。関連ソフトを起動することもできる。

Prius かんたん PC 設定

壁紙の設定など、パソコン環境を簡単に設定する環境設定ソフト。

参照 → アプリケーションのヘルプ

自動ログオン設定プログラム

自動的に、設定したアカウントにログオンする。

参照 → 【入門編】4章の「自動的にユーザー画面を起動しよう」





3

3章 再セットアップ

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻すまでの方法について説明します。パソコンの使用中にエラーが何回も発生したり、パソコンが起動しないときは、再セットアップしてください。

- >> ・再セットアップについて (P.56)
- >> ・個別セットアップについて (P.67)
- >> ・パーティションの設定 (P.73)

再セットアップについて

作業の流れ

パソコンをご購入時の状態に戻すまでの作業の流れは次のとおりです。

1 準備する

再セットアップする前に必要なファイルのバックアップをとります。インターネットやメールなどの設定も控えておきます。

参照 → 詳細について→「1 準備する」(P.57)

2 一括インストールを行う

一部のアプリケーションを除いて、パソコンをご購入時の状態に戻します。

参照 → 詳細について→「2 一括インストールを行う」(P.59)

※ヒント ● 一括インストールには、約 30 分程度、時間がかかります。

3 アプリケーションをインストールする

アプリケーションを個別にインストールします。

参照 → 詳細について→「3 アプリケーションをインストールする」(P.65)

4 電子マニュアルをインストールする

一括インストールで元に戻らない電子マニュアルをインストールします。

参照 → 詳細について→「4 電子マニュアルをインストールする」(P.65)

※ヒント ● 再セットアップをすべて行い、パソコンをご購入時の状態に戻すには、時間に余裕をもって行ってください。半日から 1 日程度の時間をかけ、確認しながら作業することをお勧めします。

1 準備する

次の準備を行ってください。

■ 必要なファイルをバックアップする

ご購入時の状態に戻すと、それまでに作成したファイルや、追加したアプリケーションなどが削除されます。CD-R や CD-RW などのディスクに必要なファイルをコピーしてバックアップをとってください。

バックアップファイルに戻せるように元のフォルダー名など、保存先も控えてください。

- 参照** →
- ・ コピーの方法について → 『入門編』 3 章の「ファイルをコピーしよう」
 - ・ バックアップの方法について → 『サポート & サービス編』 1 章の「データのバックアップ」
 - ・ データ保存場所について → 『アプリケーション編』 6 章の「標準のユーザーデータ保存場所」

■ インターネットの設定を控える

ご購入時の状態に戻したあと、加入しているプロバイダーに再び接続できるように、ユーザー名、パスワード、アカウント名など、インターネットの設定に必要な情報をメモしてください。通常は、契約時にプロバイダーから送付された書類にこれらの情報が記載されています。

■ USB などの周辺機器を取り外す

USB 機器などの周辺機器は、取り外してください。

■ メモリーカードを取り外す

メモリーカードは、取り外してください。Note の場合は、PC カードも取り外してください。

- ※ ヒント** ● メモリーカードや PC カード (Note 使用時) を取り付けているときは、取り付けたカードをパソコンから取り外してください。外さないと正しく動作しない場合があります。

- 参照** → メモリーカードの取り外しについて → 『パソコン応用編』 3 章の「メモリーカードを使う」

■ BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定を変更している場合は、BIOS をご購入時の状態に戻してください。BIOS の設定をご購入時の状態に戻す (初期化する) ことで解決できる問題もあります。
ご購入時の状態から設定を変更している場合は、設定内容をあらかじめ控えておき、BIOS を初期化したあとに設定し直してください。

- ※ ヒント** ● BIOS の設定を初期化しても内蔵タイマーの日付と時刻は変更されません。

Air/One の場合

1

パソコンの電源を入れる。

パソコンの起動中、画面下部に「Press DEL to enter SETUP, F12 to enter BOOT MENU」と表示されたら、[Delete] キーを押す

BIOS メニューが起動します。

- 重要** ● ディスプレイによっては、電源を入れても画面表示に時間がかかり、「HITACHI」ロゴやメッセージが表示されない場合があります。このようなときは、パソコンの電源を入れてから、約 10 秒間 [Delete] キーを押し続けて、BIOS メニューを起動してください。

2 [↑]、[↓]キーで、[Load Setup Defaults]を選び、[Enter]キーを押して、「Load Setup Defaults (Y/N)?」と表示されたら[Y]キー、[Enter]キーを押す

3 [↑]、[↓]キーで、[PnP/PCI Configurations]を選び、[Enter]キーを押す
[PnP/PCI Configurations]が表示されます。

4 [↑]、[↓]キーで、[Reset Configuration Data]を選び、[Enter]キーを押す
[Reset Configuration Data]が表示されます。

5 [↑]、[↓]キーで、[Enabled]を選び、[Enter]キーを押す

6 [F10]キーを押す

7 「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)?」と表示されたら[Y]キーを押し、[Enter]キーを押す
設定した内容が保存され、BIOS メニューが終了しパソコンが再起動します。

※ ヒント ● BIOS メニューで「Save & Exit Setup」を選び、[Enter]キーを押しても同じ操作ができます。

Note の場合

1 パソコンの電源を入れ、パソコンの起動中、画面中央に「HITACHI」と表示されたら、[F2]キーを押す
BIOS メニューの[Main]が表示されます。

2 BIOS メニューの[Main]で[→]キーを5回押す
[Exit]が表示されます。

3 [Load User Defaults]を選び、[Enter]キーを押す

4 [Ok]を選び、[Enter]キーを押す
BIOS メニューの[Exit]に戻ります。

5 [Save Changes and Exit]を選び、[Enter]キーを押す
設定内容を保存する確認のメッセージが表示されます。

6 [Ok]を選び、[Enter]キーを押す
設定した内容が保存され、セットアップメニューが終了し、パソコンが再起動します。

■ 必要なディスクを用意する

パソコンに付属の、次のディスク類を使用します。

- ・『再セットアップディスク (Disc1)』
- ・『Microsoft® Office Personal 2007』
- ・『アプリケーションディスク (Disc1)』
- ・『アプリケーションディスク (Disc2)』
- ・『Prius Navistation ディスク』
- ・『電子マニュアルディスク』

2 一括インストールを行う

この作業を行うと、一部のアプリケーションを除いてパソコンのHDDをご購入時に近い状態に戻します。さらに、ドライブCのサイズを変更したり、ドライブCのみ購入時の状態に戻すこともできます。あらかじめ、パソコンに付属されている次のディスクを用意してください。

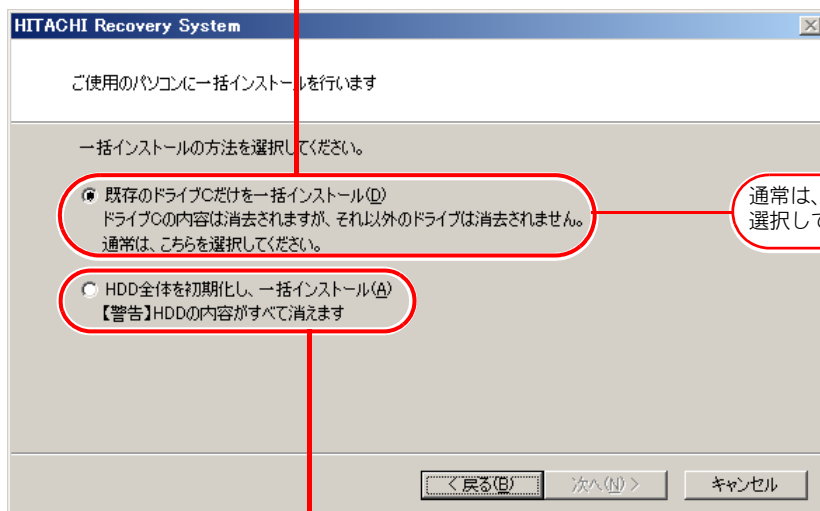
- ・『再セットアップディスク (Disc1)』

一括インストールには、次の方法があります。

選択肢	消去されるデータ	使用するディスク
(1) [既存のドライブCだけを一括インストール]	現在のドライブCの内容	・『再セットアップディスク (Disc1)』
(2) [HDD 全体を初期化し、一括インストール]	ハードディスクすべての内容	・『再セットアップディスク (Disc1)』

※ ヒント ● [既存のドライブCだけを一括インストール]を選択した場合、ドライブCのみご購入時の状態に戻します。ほかの領域は変更ありません。
[HDD 全体を初期化し、一括インストール]を選択した場合、HDDの領域すべてを消去して、ご購入時の状態に戻します。

(1) : [既存のドライブCだけを一括インストール]



(2) : [HDD 全体を初期化し、一括インストール]

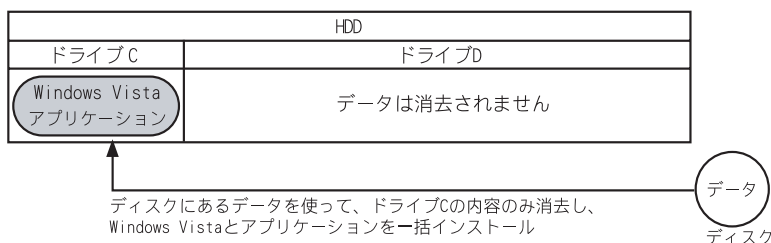
重要

- 通常は、(1) : [既存のドライブCだけを一括インストール]を選択してください。
(2) : [HDD 全体を初期化し、一括インストール]を選択した場合は、すべてのHDD 領域が消去されます。パーティションの設定は、ある程度パソコンについての知識が必要です。初心者やHDD の知識をあまりお持ちでない方にはお勧めできません。特に問題がない場合は、ご購入時のままの領域でお使いください。

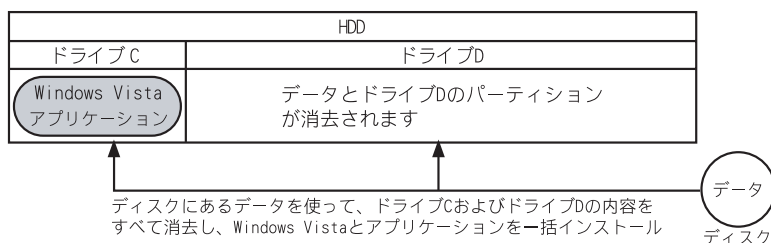
■ 一括インストールのイメージ

次のイラストは、一括インストールの説明のためにイメージ化したものです。

★メニュー画面で(1) : [既存のドライブCだけを一括インストール]を選択した場合 現在のドライブCの内容が消去され、Windows Vista とアプリケーションのインストール



★メニュー画面で(2) : [HDD 全体を初期化し、一括インストール]を選択した場合 HDD すべての内容が消去され、Windows Vista とアプリケーションのインストール



参照

→ パーティション設定について→「パーティションの設定」(P.73)

■ 一括インストール手順

HITACHI Recovery System の[ようこそ]を開いて、一括インストールを実行します。[ようこそ]の表示は、パソコンによって異なります。手順1～2は、機種別に操作してください。

Air/One の場合

1 パソコンの電源を入れ、パソコンの起動中、画面下部に「Press DEL to enter SETUP,F12 to enter BOOT MENU」と表示されたら、[F12]キーを押す

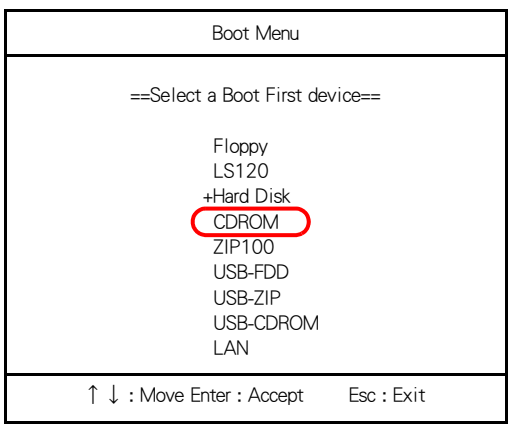
[Boot Menu]が表示されます。

重要

- [Boot Menu]が表示されずWindows が起動してしまった場合は、一度パソコンの電源を切り、パソコンの電源を入れ直してください。
- ディスプレイによっては、電源を入れても画面表示に時間がかかり、「HITACHI」ロゴやメッセージが表示されない場合があります。このようなときは、パソコンの電源を入れてから、約10秒間[F12]キーを押し続けて、[Boot Menu]を表示してください。



- 2 CD/DVD ドライブに『再セットアップディスク (Disc1)』を入れ、カーソルを [CDROM] に合わせて [Enter] キーを押す



[ようこそ] が表示されます。このあと、手順 3 に移ります。

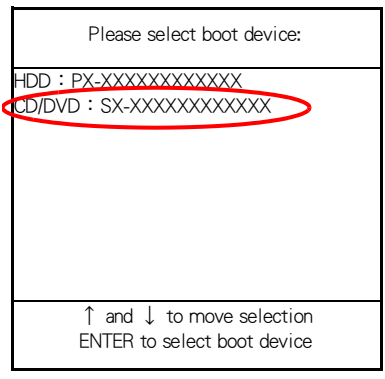
Note の場合

- 1 パソコンの電源を入れ、パソコンの起動中、画面中央に「HITACHI」と表示されたら、[Esc] キーを押す

[Boot Menu] が表示されます。

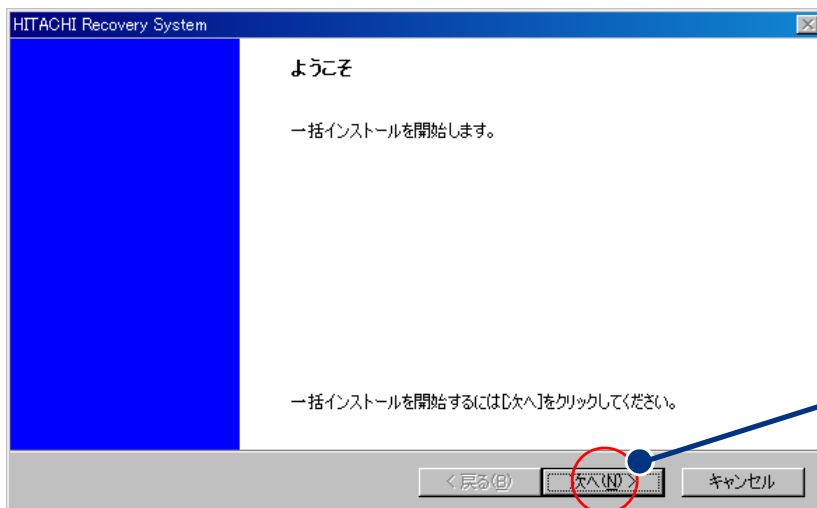
重要 ● [Boot Menu] が表示されず Windows が起動してしまった場合は、一度パソコンの電源を切り、パソコンの電源を入れ直してください。

- 2 CD/DVD ドライブに『再セットアップディスク (Disc1)』を入れ、カーソルを [CD/DVD : SX-XXXXXXXXXXXX] に合わせ [Enter] キーを押す



[ようこそ] が表示されます。

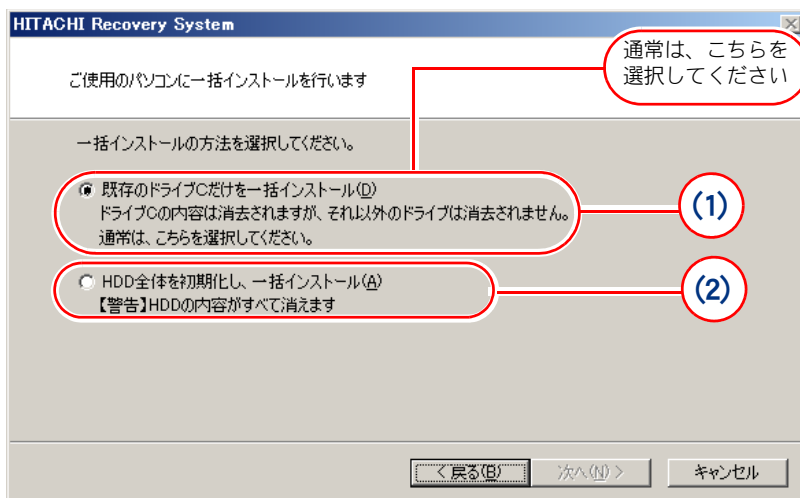
3 [次へ] ボタンをクリック



[ご使用のパソコンに一括インストールを行います] が表示されます。

- ※ ヒント** ● 一括インストールを中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。インストール中止の [確認] が表示されますので、[はい] ボタンをクリックしてください。自動でパソコンが再起動します。

4 [次へ] ボタンをクリック。 (1) : [既存のドライブ C だけを一括インストール]

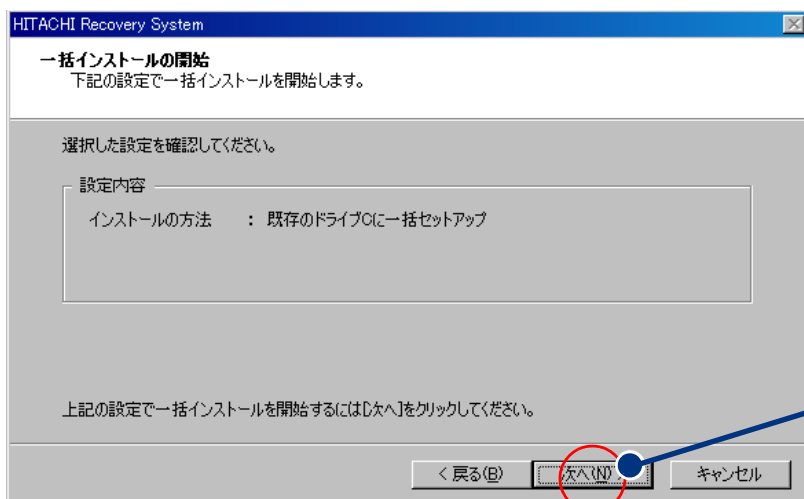


- * (1) を選ぶと、OS やアプリケーションなどをドライブ C に回復します。ドライブ C 以外のパーティションは初期化されません。ドライブ C のパーティションサイズは変更できません。
- * (2) を選ぶと、OS やアプリケーションなどをドライブ C に回復します。ドライブ C 以外のパーティションも初期化されます。

重要 ● 工場出荷時のドライブ C は、Air/One では 30GB、Note では 20GB に設定されています。

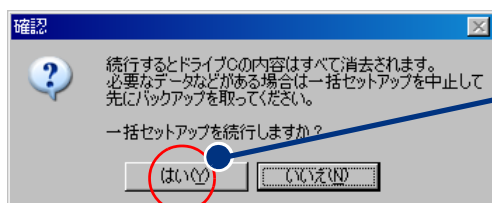


- 5 [一括インストールの開始]が表示されたら、[次へ]ボタンをクリック。
一括インストールを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリック



[確認]が表示されます。

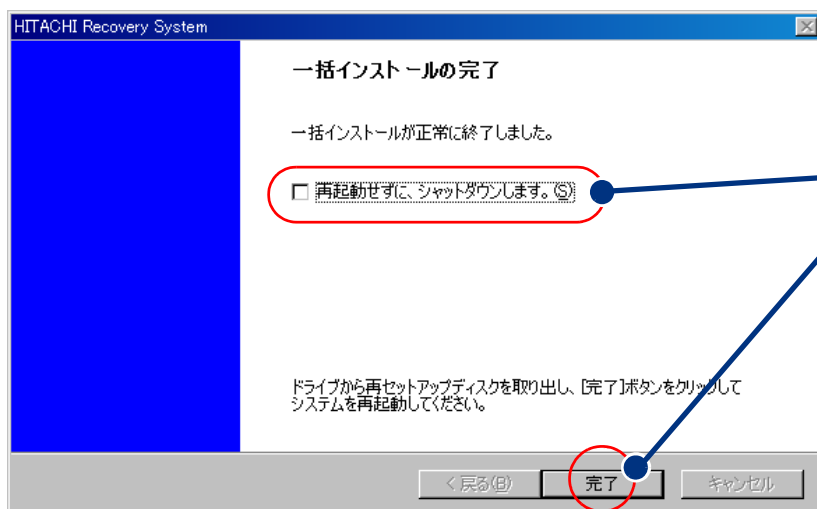
- 6 [はい]ボタンをクリックして、手順7へ進む。
[いいえ]ボタンをクリックすると、手順5へ戻る



- 重要**
- [はい]ボタンをクリックすると、Cドライブの内容はすべて消去されます。必要なデータなどがある場合は、インストールを中止して、先にバックアップを取ってください。
 - [はい]ボタンをクリックしたあとは、インストールを中止できません。

- 7 OSの回復作業が終了し、[一括インストールの完了]が表示されたら、パソコンから『再セットアップディスク (Disc1)』を取り出す

8 [再起動せずに、シャットダウンします。]にチェックが入っていないことを確認し、[完了]ボタンをクリック



パソコンが再起動します。

9 以降、Windows のセットアップ手順に従って、Windows 環境をセットアップする

参照 → セットアップ手順について→「使用許諾契約に同意しよう」(P.8)

重要 ● 次項の「3 アプリケーションをインストールする」に進むには、Windows のセットアップが必要です。

3 アプリケーションをインストールする

一括インストールを行ったあと、アプリケーションを個別にインストールします。
アプリケーションを個別インストールするには、HDD イメージ、アプリケーションディスク、付属の CD/DVD などを用います。

重要 ● アプリケーションをインストールするときは、管理者権限を持つユーザー（アカウント）で行ってください。

参照 → アプリケーションの個別インストール手順→「個別セットアップについて」(P.67)

4 電子マニュアルをインストールする

一括インストールでは、電子マニュアルはインストールされません。
電子マニュアルは、『電子マニュアルディスク』を使ってインストールします。

3

再
セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

1 CD/DVD ドライブに『電子マニュアルディスク』を入れる

Windows の実行する動作選択画面が表示されたときは、[何もしない] をクリックし、[OK] ボタンをクリックします。

2 『電子マニュアルディスク』の中の [Elemnu.exe] アイコンをダブルクリック

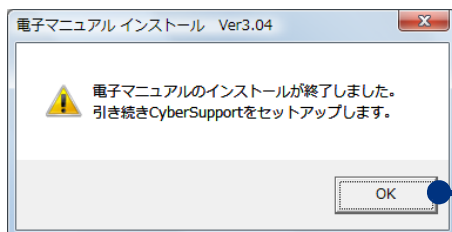
[電子マニュアルインストール Ver X.XX] が表示されます。

※ ヒント ● ユーザー アカウント制御ダイアログが表示されます。[許可] ボタンをクリックしてください。

3 [OK] ボタンをクリック

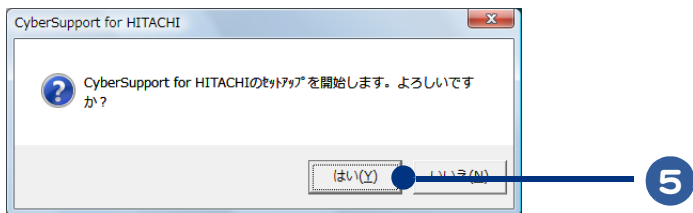
電子マニュアルがインストールされます。

4 「電子マニュアルのインストールが終了しました。引き続き CyberSupport をセットアップします。」とメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリック



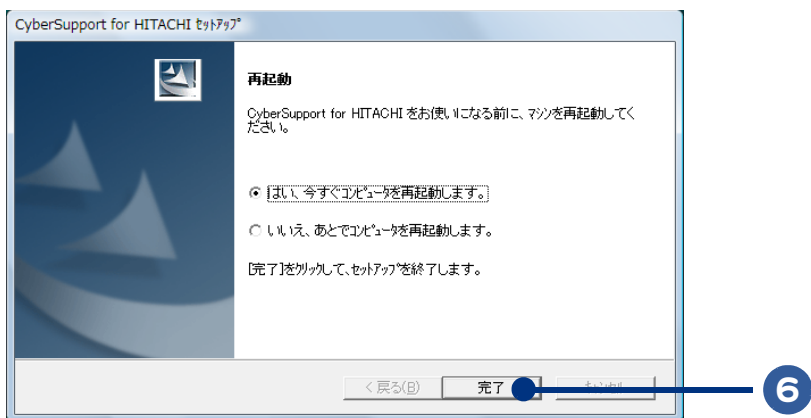
5 「CyberSupport for HITACHI のセットアップを開始します。よろしいですか?」とメッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリック

CyberSupport がインストールされ、データベースが作成されます。



6 次のメッセージが表示されたら、[完了]ボタンをクリック

パソコンが再起動します。



※ヒント ● 「CyberSupport」についてのご質問は、「安心コールセンター」までお問い合わせください。株式会社ジャストシステムでは、お問い合わせを直接受け付けていません。

個別セットアップについて

ここでは、アプリケーションやドライバーの個別セットアップについて説明します。ご購入時にインストールされていないアプリケーションをインストールする場合や、すでにあるアプリケーションをインストールし直す場合にお読みください。ドライバーは標準でセットアップされています。何らかの理由でドライバーなどが壊れた場合にセットアップし直してください。

※ ヒント

- モデルによっては、付属していないアプリケーションやドライバーもあります。
- ここで説明する以外の方法で、特殊なインストールを行う場合は、各アプリケーションの販売元や開発元にお問い合わせください。

参照 →

問い合わせ先→『サポート＆サービス編』1章の「困ったときのお問い合わせ先」

3

再
セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

アプリケーションの個別インストールについて

■ アプリケーションをインストールの前に

ほかのアプリケーションは終了させておく

インストールを始める前に、ほかのアプリケーションはすべて終了してください。

既存のアプリケーションは削除しておく

すでに存在するアプリケーションを再インストールする場合は、アプリケーションを削除してから実行してください。削除せずに再インストールを行うとアイコンが二重登録されることがあります。削除方法はアプリケーションによって異なり、次に説明する2つの方法のどちらかになります。「アンインストーラーによる削除」から順に試してみてください。

※ ヒント

- アンインストール中に、「共有ファイルを削除しますか？」と表示されることがあります。通常は「いいえ」ボタンを選びます。ほかのソフトウェアで使用されていないと分っている場合は「はい」ボタンを選んでください。

■ アプリケーションを削除する

アンインストーラーによる削除

1 [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]をクリックし、削除するアプリケーションを選ぶ

2 アンインストーラーをクリック

※ ヒント

- [×××のアンインストール] などとあるのがアンインストーラーです。アプリケーションによって名称は異なります。
- アンインストーラーがない場合は、[プログラムと機能] による削除を行ってください。

3 画面の指示に従って操作し、アプリケーションを削除する

【プログラムと機能】による削除

- 1 **【コントロール パネル】－【プログラム】をクリック**
【プログラム】が表示されます。
- 2 **【プログラムと機能】をクリック**
【プログラムのアンインストールまたは変更】が表示されます。
- 3 **削除するアプリケーションを選んで、【アンインストールと変更】をクリック**
- 4 **画面の指示に従い、アプリケーションを削除する**

重要 ● 「筆ぐるめ Ver.14 for HITACHI」をアンインストールするとき、アンインストール中に「共有ファイルの検出」が表示されます。ここで「次回からこのメッセージを表示しない。」チェックボックスをチェックして、「はい」ボタンをクリックしてください。「いいえ」または「キャンセル」ボタンをクリックすると、アンインストールが正常に終了しません。

■ アプリケーションをインストールする

アプリケーションを個別にインストールします。
アプリケーションを個別インストールするには、HDD イメージ、アプリケーションディスク、付属の CD/DVD などを用いて、次の方法があります。

重要 ● アプリケーションをインストールするときは、管理者権限を持つユーザー（アカウント）で行ってください。

- 1 **パソコンを起動し、CD/DVD の場合は、このパソコンに付属の『アプリケーションディスク』または、『付属の CD/DVD』を CD/DVD ドライブに入れる**
HDD イメージの場合は、手順 2 へ進む
- 2 **【スタート】ボタン－【すべてのプログラム】－【アクセサリ】－【ファイル名を指定して実行】をクリック**
【ファイル名を指定して実行】が表示されます。

※ヒント ● キーボードの Windows キーを押しながら R キーを押すと、【ファイル名を指定して実行】が表示されます。

- 3 **e:¥drivers¥ ×××× ¥setup と入力し、【OK】ボタンをクリック**
* e は CD/DVD ドライブ名

※ヒント ● HDD イメージを使ってインストールする場合のドライブ名は c になります。

- 4 **以降、画面の指示に従ってインストールする**
- 5 **インストールが終了したら CD/DVD の場合は、CD/DVD をドライブから取り出し、パソコンを再起動する。**
HDD イメージの場合は、そのままパソコンを再起動する

アプリケーション一覧		インストールパス	注意事項
Microsoft® Office Personal 2007 (Word 2007/Excel 2007/Outlook® 2007/Office ナビ 2007)		setup.exe ※ Office ナビ 2007 : OfficeNavi¥setup.exe	*1、12
Microsoft® Office Outlook® 2007			
読みワザ		読みワザ ¥setup.exe	—
ATLAS 翻訳パーソナル 2007 LE		ATLAS 翻訳パーソナル 2007LE¥setup.exe	*1
Norton Internet Security 2007		NortonInternetSecurity2007¥SymSetup.exe	*1、5、13
i-フィルター 4 (30 日間使用可能)		i-フィルター ¥setup.exe	*1、14
Flip Viewer 3.8		FlipViewer3.8¥setup.exe	*1、6
Roxio Easy Media Creator 9 for HITACHI		EasyMediaCreator¥setup.exe	*1
DVD MovieWriter 5 for HITACHI		DVDMovieWriter¥setup.exe	*1、7、8
Prius Navistation5		PriusNavistation¥setup.exe (『Prius Navistation ディスク』)	*1
SD-VideoWriter		SDVideoWriter¥setup.exe	*1
PowerCinema Suite		PowerCinema¥setup.exe	*1
CyberLink MCE Deluxe Suite		CLIMCEDeluxeSuite¥setup.exe	*1
筆ぐるめ Ver.14 for HITACHI		筆ぐるめ ¥setup.exe	*1、9
らくらく家計簿ゆとりちゃん 7		ゆとりちゃん 7¥setup.exe	*1、10
駅すばあと		駅すばあと ¥setup.exe	*1
キートレ		キートレ ¥setup.exe	*1
マウス吸着		KMouse¥setuo.exe	*1
画面拡大		MFrame¥setuo.exe	*1
AI 囲碁 スタンダード		AI 囲碁 ¥setup.exe	*1
AI 将棋 スタンダード		AI 将棋 ¥setup.exe	
AI 麻雀 スタンダード		AI 麻雀 ¥setup.exe	
AdobeReader		AdobeReader¥AdbeRdr80_ja_JP.exe	*1
CyberSupport		CyberSupport¥setup.exe	*1
e 解説シリーズ はじめてでもわかる Microsoft Windows Vista 教室 for HITACHI		e 解説 ¥Setup.exe	*1
Prius ツール	Prius で楽しもう!	Prius ツール ¥setup.exe	*1
Prius かんたん シリーズ	Prius かんたんランチャー	Prius 簡単シリーズ ¥setup.exe	*1、5
プラグイン	Java(TM) Platform Standard Edition 6.0	JavaRuntime¥jre-6-oem-windows-i586.exe	*1
	goo スティック	goostick¥goostick_setup_prius.exe	*1、4
	Adobe® Flash® Player	AdobeFlashPlayer¥install_flash_player_active_x.exe	*1
	Macromedia® Shockwave® Player	AdobeShockwave¥sw_lic_full_installerj.exe	*1
オンライン サインアップ ソフト	AOL	AOL¥setup.msi	*1、11
	BIGLOBE	BIGLOBE¥setup.exe	*1
	OCN	OCN¥INSTALL.exe	*1
	ODN	ODN¥setup.exe	*1
	So-net	So-net¥INSTALL.exe	*1
	Yahoo! BB	YahooBB¥setup.exe	*1、5

*1 : ユーザー アカウント制御ダイアログが表示されます。[続行] もしくは [許可] ボタンをクリックしてください。

*2 : Outlook 2007 は Office Personal 2007 をインストールすると同時にインストールされます。

- * 3 : Office ナビ 2007 は、Office Personal 2007 をインストールした後にインストールしてください。
- * 4 : [インストールオプション]で、[ブラウザのホームページを「goo」に設定する]をクリックしてチェックを外してください。
- * 5 : セキュリティの警告ダイアログが表示されます。[実行]ボタンをクリックしてください。
- * 6 : インストール完了の確認ダイアログが表示されません。
- * 7 : 「コマンドライン オプションの構文エラーです。Command /? を入力するとヘルプが表示されます。」と表示された場合、[OK]ボタンをクリックしてください
- * 8 : 「Command line option syntax error. Type Command /? for Help.」と表示された場合、[OK]ボタンをクリックしてください (複数回表示される場合があります)。
- * 9 : [筆ぐるめ V14 インストール]ボタンをクリックします。
- * 10 : [セットアップ]ボタンをクリックします。
- * 11 : [インストール フォルダの選択]で、[すべてのユーザー]を選択してください。
- * 12 : セットアップの詳細は、各添付ソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。
セットアップし直した場合はライセンス認証が必要になります。認証に必要な CD キーは、CD-ROM ケースの裏側に記載されています。
- * 13 : インストール後、最新版へのアップデートを行ってください。
- * 14 : インストール後、管理者パスワードの設定を行ってください。
必要に応じて、「ユーザーの追加」、「適切なフィルター強度の設定」を行ってください。

ドライバーの個別セットアップについて

ドライバーの個別セットアップは、『再セットアップディスク (Disc1)』を使用します。
各ドライバーをインストールするためのパスは、『再セットアップディスク (Disc1)』内にある
Readme.txt をご参照ください。

- ※ ヒント**
- セットアップを行うと、ご購入時の設定と異なることがあります。
 - ここでは CD/DVD ドライブは、ドライブ e と表記します。

- ▲ 重要**
- パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
 - セットアップは、アプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行くと正しく動作しないことがあります。
 - ドライバーのセットアップを完了後、『再セットアップディスク (Disc1)』を取り出して、Windows を再起動してください。ドライバーによっては、自動で再起動される場合もあります。
 - 『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れたままパソコンを再起動すると、一括インストールを開始する画面が表示されます。

■ Setup.exe からのインストール

- 1 Windows を起動し、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる
- 2 [スタート] ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[ファイル名を指定して実行] をクリック
[ファイル名を指定して実行] が表示されます。

- ※ ヒント** ● キーボードの [Windows] キーを押しながら [R] キーを押すと、[ファイル名を指定して実行] が表示されます。

- 3 e:¥drivers¥XXXX¥setup と入力し、[OK] ボタンをクリック
* e は CD/DVD ドライブ名



- 4 以降、画面の指示に従ってインストールする
- 5 インストールが終了したら『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブから取り出し、パソコンを再起動する


■ デバイスマネージャからのインストール

- 1 Windows を起動し、このパソコンに付属の『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブに入れる
- 2 [コントロール パネル] – [システムとメンテナンス] をクリック
[システムとメンテナンス] が表示されます。
- 3 [デバイスマネージャ] をクリック
[デバイスマネージャ] が表示されます。
- 4 インストールしたい[デバイスの種類] – [デバイス名称] を選択しダブルクリック
[XXXX のプロパティ] が表示されます。
- 5 [ドライバ] タブの[ドライバの更新] ボタンをクリック
[ドライバソフトウェアの更新] が表示されます。
- 6 [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します] をクリック
[このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします] が表示されます。
- 7 [次の場所でドライバソフトウェアを検索します] の下の欄に、e:¥drivers¥XXXX と入力後、[次へ] ボタンをクリック
* e は、CD/DVD ドライブ名
[ハードウェアの更新ウィザードの完了] が表示されます。
- 8 インストールが終了したら、[完了] ボタンをクリック
- 9 [閉じる] ボタンをクリック
- 10 『再セットアップディスク (Disc1)』を CD/DVD ドライブから取り出し、パソコンを再起動する

各アプリケーションやドライバーの制限や設定


アプリケーションによっては、「個別セットアップについて」で説明した手順と異なる手順が必要だったり、特別な制限がある場合があります。そのようなアプリケーションをインストールするときは、開始前に該当するアプリケーションの項目をお読みください。

-  **ヒント** ● 各アプリケーションの情報については、アプリケーション提供元のホームページをご参照ください。
- 市販のアプリケーションをご利用の場合、Windows Vista で動作するか、各メーカーにお問い合わせください。

-  **重要** ● アプリケーションは、コンピュータの管理者権限を持つユーザーで使用してください。制限ユーザーでは使用できないアプリケーションがあります。

Microsoft® Office Personal 2007

- ・ セットアップの詳細は、各添付ソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。
- ・ セットアップし直した場合はライセンス認証が必要になります。認証に必要な CD キーは、CD-ROM ケースの裏側に記載されています。


-  **重要** ● 添付の Microsoft® Office Personal 2007 (以下 Office Personal 2007) をセットアップしなおした場合、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を受けない場合、Office Personal 2007 の起動回数が承諾回数を超えると、ファイルの作成更新など機能が使用できなくなります。ライセンス認証の方法は、Office Personal 2007 の『スタート ガイド』をご参照ください。

ATLAS 翻訳パーソナル 2007 LE

- ・ [ユーザ情報] で [ユーザ名]、[所属] を入力して、[次へ] ボタンをクリックしてください。


Norton Internet Security

- ・ インストール後、最新版へのアップデートを行ってください。

-  **ヒント** ● ユーザー登録方法は、デスクトップ上の「はじめにお読みくださいー McAfee ユーザ登録手順 .pdf」をご参照ください。

i-フィルター

- ・ インストール後、管理者用パスワードの設定を行ってください。
- ・ 必要に応じて、「ユーザーの追加」、「適切なフィルター強度の設定」を行ってください。

-  **ヒント** ● 工場出荷時のフィルター強度設定は、「大人向け」です。

パーティションの設定

HDD を複数の領域に分け、それぞれ別のドライブとして使用する場合にはパーティション（使用可能領域）を設定し直します。

重要

- パーティションの設定は、ある程度パソコンについての知識が必要です。初心者の方や HDD の知識をあまりお持ちでない方には、お勧めできません。特に問題がない場合は、ご購入時のままの領域でお使いください。
- パーティションを設定し直すと、HDD 内のデータはすべて削除されます。あらかじめ CD-R やその他の媒体に必要なファイルのバックアップを取ってください。インターネットやメールなどの設定も控えておいてください。

HITACHI Recovery System の [ようこそ] を開いて、パーティションの設定を実行します。[ようこそ] の表示は、パソコンによって異なります。手順 1 ～ 2 は、機種別に操作してください。

Air/One の場合

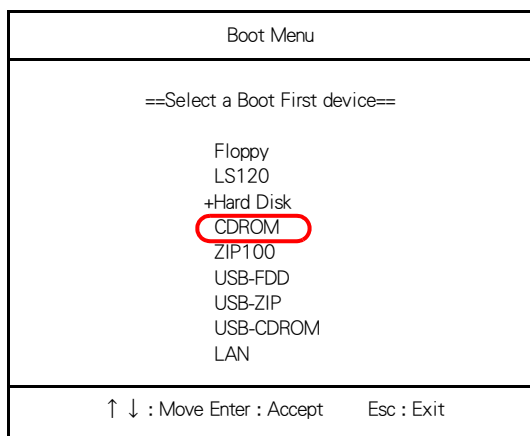
1 パソコンの電源を入れ、パソコンの起動中、画面下部に「 Press DEL to enter SETUP,F12 to enter BOOT MENU 」と表示されたら、[F12] キーを押す

[Boot Menu] が表示されます。

重要

- [Boot Menu] が表示されず Windows が起動してしまった場合は、一度パソコンの電源を切り、パソコンの電源を入れ直してください。
- ディスプレイによっては、電源を入れても画面表示に時間がかかり、「HITACHI」ロゴやメッセージが表示されない場合があります。このようなときは、パソコンの電源を入れてから、約 10 秒間 [F12] キーを押し続けて、[Boot Menu] を表示してください。

2 CD/DVD ドライブに『再セットアップディスク (DISC1)』を入れ、カーソルを [CDROM] に合わせて [Enter] キーを押す



[ようこそ] が表示されます。このあと、手順 3 に移ります。

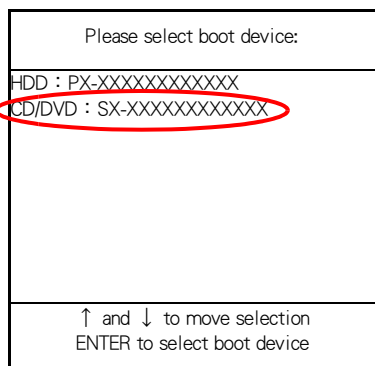
Note の場合

- 1 パソコンの電源を入れ、パソコンの起動中、画面中央に「HITACHI」と表示されたら、[Esc] キーを押す

[Boot Menu] が表示されます。

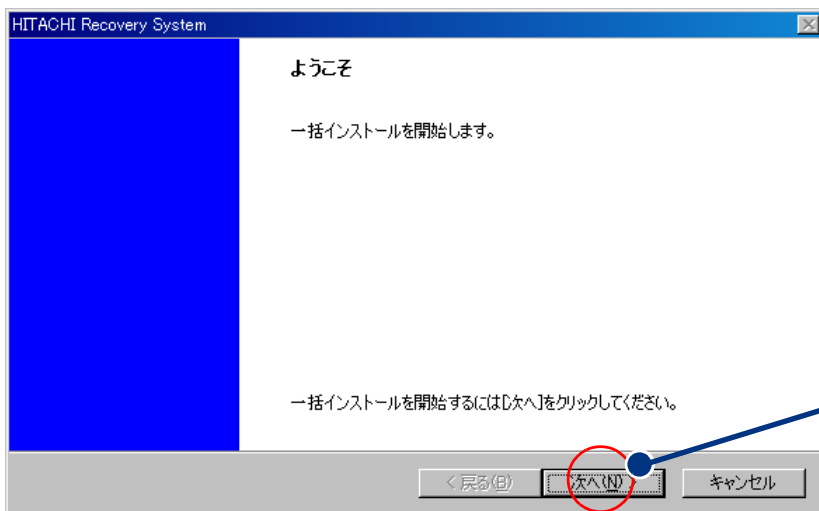
重要 ● [Boot Menu] が表示されず Windows が起動してしまった場合は、一度パソコンの電源を切り、パソコンの電源を入れ直してください。

- 2 CD/DVD ドライブに『再セットアップディスク (DISC1)』を入れ、カーソルを [CD/DVD : SX-XXXXXXXXXXXX] に合わせ [Enter] キーを押す



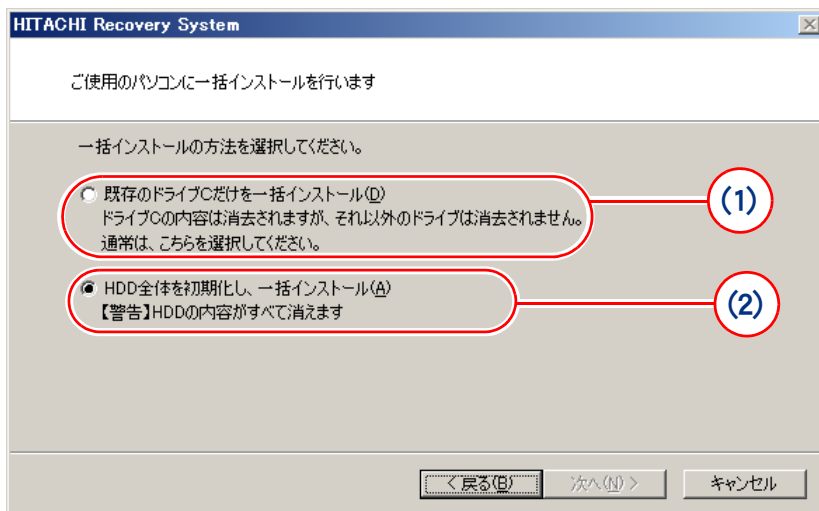
[ようこそ] が表示されます。

- 3 [次へ] ボタンをクリック



[ご使用のパソコンに一括インストールを行います] が表示されます。

4 (2) : [HDD 全体を初期化し、一括インストール] セットアップ方法を選択し、[次へ] ボタンをクリック



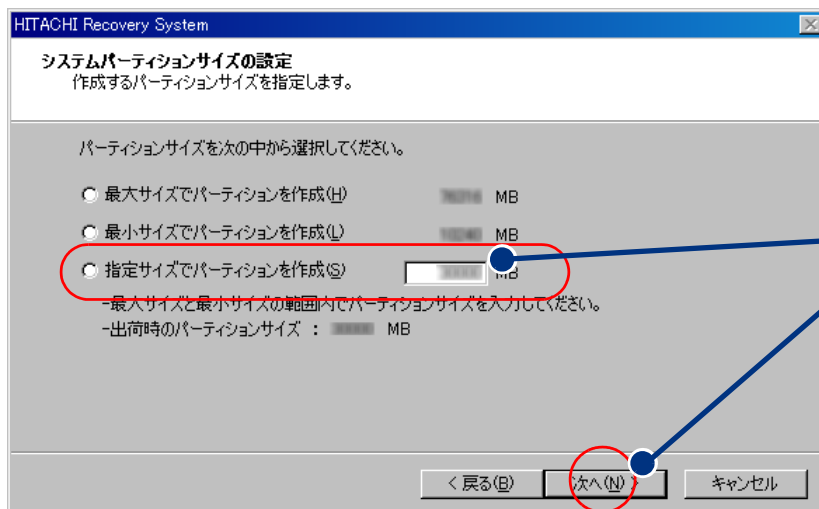
[システムパーティションサイズの設定]が表示されます。

- * (1) を選ぶと、OS やアプリケーションなどをドライブ C に回復します。ドライブ C 以外のパーティションも初期化されます。
- * (2) を選ぶと、OS やアプリケーションなどをドライブ C に回復します。ドライブ C 以外のパーティションは初期化されません。ドライブ C のパーティションサイズは変更できません。

重要 ● 工場出荷時のドライブ C は、ご購入時に選択された HDD の容量により、次のようにパーティションが設定されています。

150GB 未満の HDD	: 20GB
150GB 以上の HDD	: 30GB

5 [指定サイズでパーティションを作成]を選択し、新規に作成するドライブ C のパーティションサイズを入力して、[次へ] ボタンをクリック



- * [最大サイズでパーティションを作成]を選ぶと、ハードディスクの最大サイズでドライブ C を作成します。
- * [最小サイズでパーティションを作成]を選ぶと、ハードディスクの最小サイズでドライブ C を作成します。

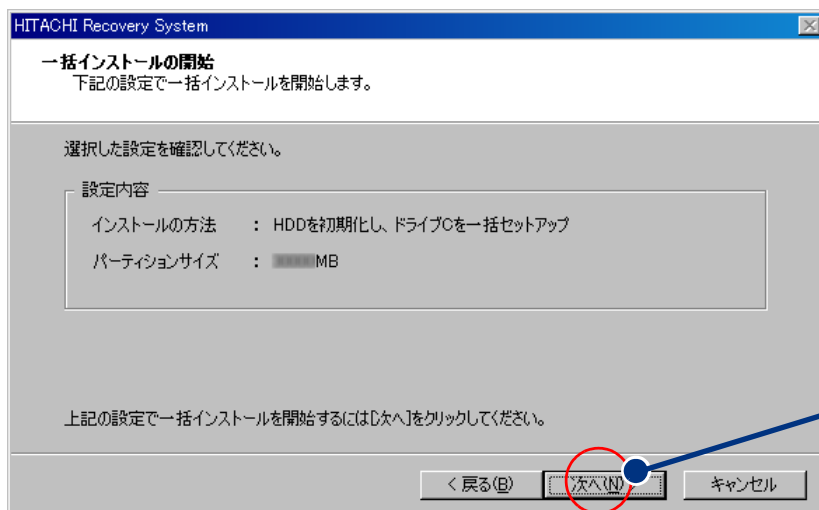
重要

- 工場出荷時のドライブ C は、ご購入時に選択された HDD の容量により、次のようにパーティションが設定されています。
150GB 未満の HDD : 20GB
150GB 以上の HDD : 30GB

※ ヒント

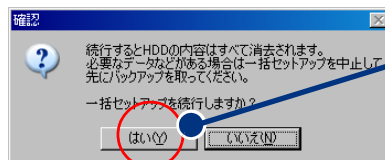
- ここで作成したドライブがドライブ C になり、自動で起動ドライブとして設定されます。
- 起動ドライブの領域のサイズが、一括インストールに必要なサイズより小さい場合は、一括インストール時、インストールできる HDD のサイズまで自動で割り当て直します。
- [指定サイズでパーティションを作成]を選び、任意のパーティションを入力する場合、最大サイズを超えない値でかつ、最小サイズを下回らない値を入力してください。

6 [一括インストールの開始]が表示されたら、[次へ]ボタンをクリック。 一括インストールを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリック



[確認]が表示されます。

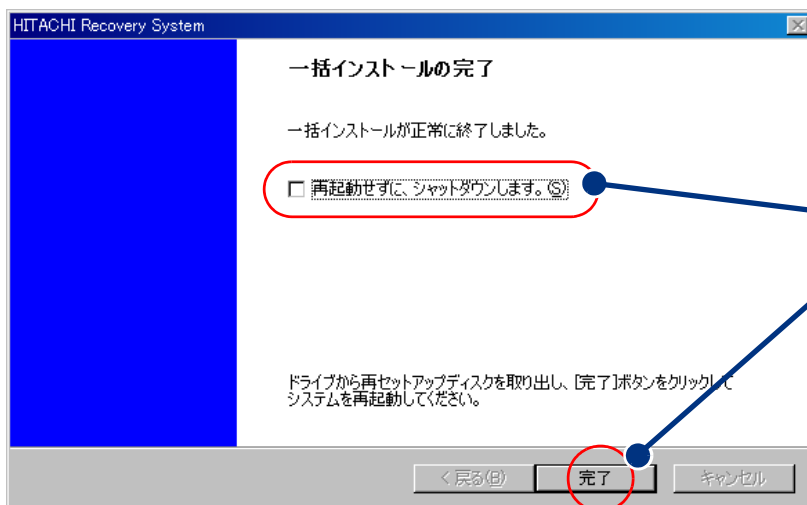
7 [はい]ボタンをクリック。 [いいえ]ボタンをクリックすると、手順6へ戻る



8 OSの回復作業が終了し、[一括インストールの完了]が表示されたら、パソコンから『再セットアップディスク (DISC1)』を取り出す



- 9 [再起動せずに、シャットダウンします。]にチェックが入っていないことを確認し、[完了]ボタンをクリック



パソコンが再起動し、[Microsoft Windows へようこそ]が表示されます。

- 10 画面の指示に従って、Windows 環境をセットアップする

参照 → 詳細について → 「使用許諾契約に同意しよう」(P.8)

- 11 [スタート]ボタン-[コントロール パネル]をクリック

- 12 [システムとメンテナンス]をクリック

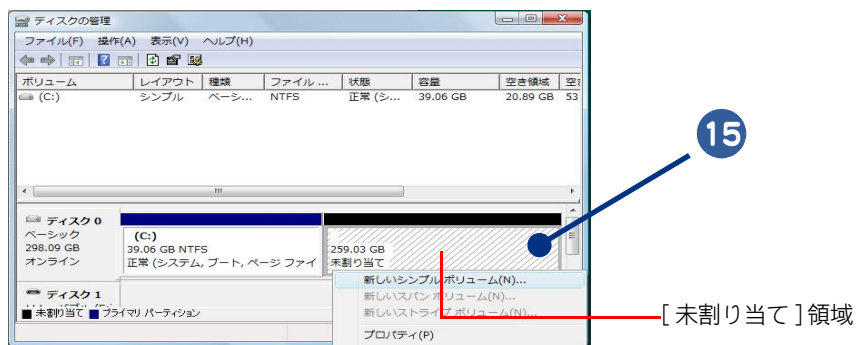
- 13 [管理ツール]の[ハードディスクパーティションの作成とフォーマット]をクリック

[ユーザーアカウント制御]が表示されます。

- 14 [続行]ボタンをクリック

[ディスクの管理]が表示され、ディスクの構成が表示されます。

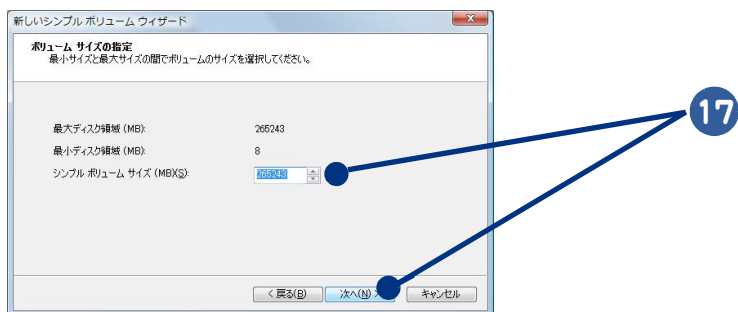
15 [未割り当て]領域を右クリックし、[新しいシンプルボリューム]をクリック



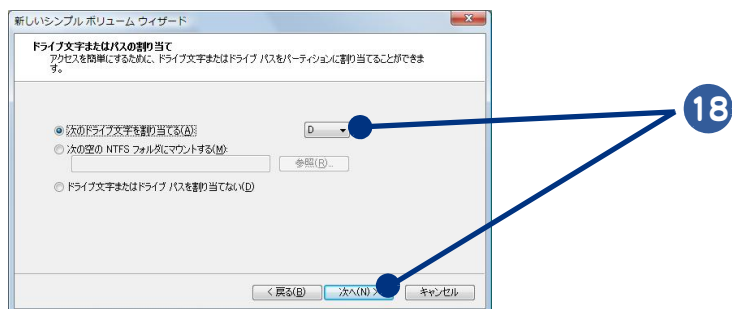
[新しいシンプルボリュームウィザード]が表示されます。

16 [次へ]ボタンをクリック

17 ボリュームサイズを選択し、[次へ]ボタンをクリック

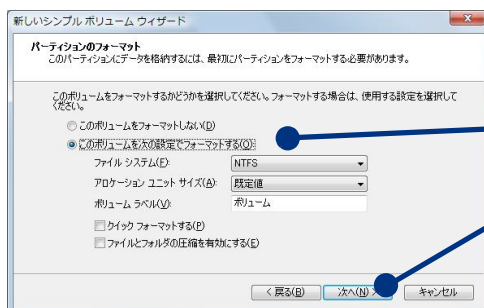


18 ドライブ名を選択し、[次へ]ボタンをクリック





19 フォーマットする方法を選択し、[次へ] ボタンをクリック



20 [完了] ボタンをクリック

パーティションが作成され、新しいドライブができます。





さくいん

A

Adobe Reader 52
AI 囲碁 スタANDARD 52
AI 将棋 スタANDARD 52
AI 麻雀 スタANDARD 52
ATLAS 翻訳パーソナル 2007 LE 52, 72

B

BIOS 57

C

CD 操作キー 16
CyberSupport 52

D

DVD MovieWriter 5 for HITACHI 45, 50
DVD ビデオ 45

E

Excel 2007 51

G

goo スティック 51

I

IEEE1394 45
Internet Explorer 35, 50
i-フィルター 51, 72

J

Java 50

M

Microsoft Office Personal 2007 72

N

North Internet Security 2007 51
Norton Internet Security 72
NumLk 16

O

Outlook 2007 50

P

Power Cinema 49
Prius Navistation5 49
Prius 一文字 52
Prius かんたん PC 設定 53

Prius で楽しもう！ 53

Prius 筆算 52

Prius 四字熟語 52

R

Roxio Easy Media Creator 9 39, 50

S

SD-VideoWriter 49

W

Windows DVD メーカー 50
Windows Media Center 49
Windows Media Player 39, 49
Windows Update 41
Windows フォトギャラリー 50
Windows メール 37, 50
Word 2007 51

あ

アイコン 21
アプリケーションのインストール 65, 68

い

一括インストール 59
インストール 65, 68

う

ウイルス駆除ソフト 38
ウイルスチェック 38
ウィンドウ 21, 22

え

駅すばあと 52

お

オーディオケーブル 45
お気に入り 35
お手入れ 29
オリジナル音楽 CD 40
音楽 CD 39
音楽データ 39
オンラインサインアップソフト 35, 51

か

ガジェット 21
かな入力 9
漢字変換 9

き

キートレ 52

く

クリックボタン 15

け

言語バー 21

こ

コピープロテクト付き CD 40

ごみ箱 21

[コンピュータ] ウィンドウ 22

さ

[最小化] ボタン 21

再セットアップ 56

[最大化] ボタン 21

し

自動更新 43

自動ログオン設定プログラム 53

使用許諾契約 8

ショートカット 33

す

スクロールボタン 21

[スタート] ボタン 21, 32

た

タスクバー 21

つ

通知領域 21

て

デスクトップ 21

テンキー 16

電源を切る 12

電子マニュアル 65

と

[閉じる] ボタン 21

は

パーティションの設定 73

バックアップ 57

バックアップ音楽 CD 40

ふ

筆ぐるめ Ver.14 for HITACHI 39, 45, 46, 51

プリンター 46

プリンタードライバー 52

プロバイダー 35

へ

ヘルプ 47

返信する 37

ほ

ポインティングパッド 15

ポイント 32

ホームページ 35

ボリューム操作キー 16

ま

マウス 14

マウスポインター 8, 14, 15, 21

め

メール 37

メール用ソフト 37

よ

読みワザ 52

ら

らくらく家計簿ゆとりちゃん 7 51

り

リンク 35

ろ

ローマ字入力 9

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
- ・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

Prius 取扱説明書 パソコン使用編

初 版 2006 年 12 月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社 日立製作所 ユビキタスシステム事業部

〒 244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地
お問い合わせ先: 安心コールセンター 0120-885-596

© Hitachi,Ltd.2006.All rights reserved.



このマニュアルは、再生紙を使用しています。

PR0T020P0-1